

2025年3月期 決算報告

2025年5月15日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

By your side, for life

目次



- 本日のポイント P.3
- グループ各社の業績概要 P.17
- グループEV P.27
- 参考データ P.31

※記載数値の端数処理を切り捨てから四捨五入に変更しています(一部を除く)。

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2025/3末	149.52円	162.08円	93.97円
2024/12末	158.18円	164.92円	98.50円
2024/3末	151.41円	163.24円	98.61円
2023/12末	141.83円	157.12円	96.94円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイベット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	47.4%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	
非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)				
AMO	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
AMO(US)	アセットマネジメントOne(USA)	[米国] Asset Management One USA	49%(議決権) 30%(経済持分)	1-12月
VTX	パーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	4-3月
CP	キャニオン・パートナーズ	[米国] CP New Co	19.9%	1-12月
BO	ベネフィット・ワン		100%	4-3月
その他				
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	1-12月

2024年度 連結業績 | 良好な経済環境を背景に、グループ修正利益および修正ROEの2026年度目標値を前倒しで達成

グループ修正利益	4,395億円
修正ROE	10.7%
グループ新契約価値 ⁽¹⁾ (VNB)	1,724 ⁽¹⁾ 億円

- ▶ 前期比+38%(修正後の通期予想に対する達成率: 106%)
株高・円安等の良好な経済環境を背景に、DLの順ざやが改善したこと等で、中計目標を超過、最高益を更新
- ▶ 前期比+2.5%pt
増益に加え国内株の削減効果もあり、修正ROEも10.7%と中計目標を超過
- ▶ 前期比(新基準ベース) : +61%増
今回計測より海外子会社含め新基準ベースで計測。第一生命の販売量回復を主要因として前期比増加

2025年度予想 | 先行きが見通しにくい経済情勢も、グループ修正利益は4,100億円程度(修正ROE10%超)を見込む

グループ修正利益	4,100億円程度
グループ新契約価値 (VNB)	1,900億円程度

- ▶ 前期比 Δ7%減
不安定な経済環境を織り込んだ上でも、グループ修正利益4,100億円、修正ROE(概算)10.5%を見込む
- ▶ 前期実績(新基準)比 +10%増
DFL・PLCが販売減速等に伴い減収見込みも、DLの販売量回復で相殺し、前期比増加を見込む

株主還元 | 25/3期DPSは前期比増配。26/3期も配当性向引上げや平均利益の増加等で大幅増配を見込む

1株あたり配当金 ⁽²⁾	25/3期実績 137(34)円 26/3期予想 192(48)円
自己株式取得	上限1,000億円

グループ修正利益の増益により、前期比+24円増配の137円(期末配当:76円)
資本効率の改善状況等を踏まえ、配当性向を45%に引き上げ。配当計算に用いる3年平均利益からコロナ影響で利益が低かった年度が除かれる影響もあり、前期比+55円(+14円)の大幅増配を見込む

子会社からの送金見通しや資本充足率、足元の株価状況に加え、資本効率の改善状況等を考慮し、5期連続での大規模自己株式取得を決定

Topic | 資本循環経営の推進に向けた資本戦略案件を複数実施

(1) 第三者レビュー前の暫定値 (2) 2025年4月の株式分割(4分割)反映を考慮しない数値。括弧内は考慮後の数値

決算のポイント – グループ修正利益（国内・海外別進捗状況）

国内事業: 利回り改善等による順ざや拡大に加え、一過性利益等もあり2月公表の修正予想を達成

DLで、国内株式売却が順調に進捗した他、経済環境が概ね良好に推移したことで利配収入が上振れる等、順ざやが大幅に改善。2月公表の修正予想を達成
DFLは、米金利急騰懸念の後退に伴う運用費用の減少や円安に伴う解約益の増加等により、修正予想には届かなかったものの前期比で大幅増益

海外事業: 各社とも順調。円安効果もあり、2月公表の修正予想を達成

海外全体で修正通期予想に対して104%と順調な進捗。PLCは現地通貨ベースで順調に推移。期末の円安環境による持ち上げもあり、円貨ベースにおいても修正予想を超過。TALは3月末にかけて円高が急速に進展したものの、円貨ベースでも修正予想を達成

対通期業績予想の達成状況(国内・海外)

		修正利益 ⁽¹⁾	修正予想対比 ⁽¹⁾	(参考) 前期比 ⁽²⁾
グループ連結		4,395億円	106%	+38%
国内事業		3,161億円	108%	+47%
DL	株式・オルタナ資産の増配や円債の利回り改善等による利配収入増加で順ざやが拡大したことで、修正予想を達成	2,881億円	109%	+42%
DFL	米金利急騰懸念の後退に伴う運用費用の減少や円安に伴う解約益の増加等により前期比増益となり期初予想は超過も、経済環境変動に伴い2月公表の修正予想には未達	323億円 グループ内への出再ブロックを含む利益貢献額 497億円	92%	+179%
海外事業		1,146億円	104%	+30%
PLC	保険前提見直しに伴う損失を運用収益増加や事業費抑制取組みの効果等で相殺し、修正予想を達成	574億円	104%	+92%
TAL	保険金支払増加影響を、良好な継続率と運用収益増加で相殺し、修正予想を達成	374億円	100%	△12%

【国内】超長期金利の上昇について

【2025年3月末】

30年金利(JPY) 2.53%

40年金利(JPY) 2.80%

【2025年5月7日時点】

30年金利(JPY) 2.90%

40年金利(JPY) 3.33%

直近の超長期金利上昇を織り込んだ場合でも、円建債券ポートフォリオにおいて、評価損は実現していない

更なる金利上昇への備え

- ✓ 債券の継続的な入替によるポートフォリオの改善
- ✓ 金利上昇時に評価益が発生するデリバティブ(スワップション等)を、金利急騰に備えたヘッジポジションとして保有

なお、経済価値ベースでは保険負債も資産評価同様、時価評価されるため、当社の健全性に影響を与えるものではない

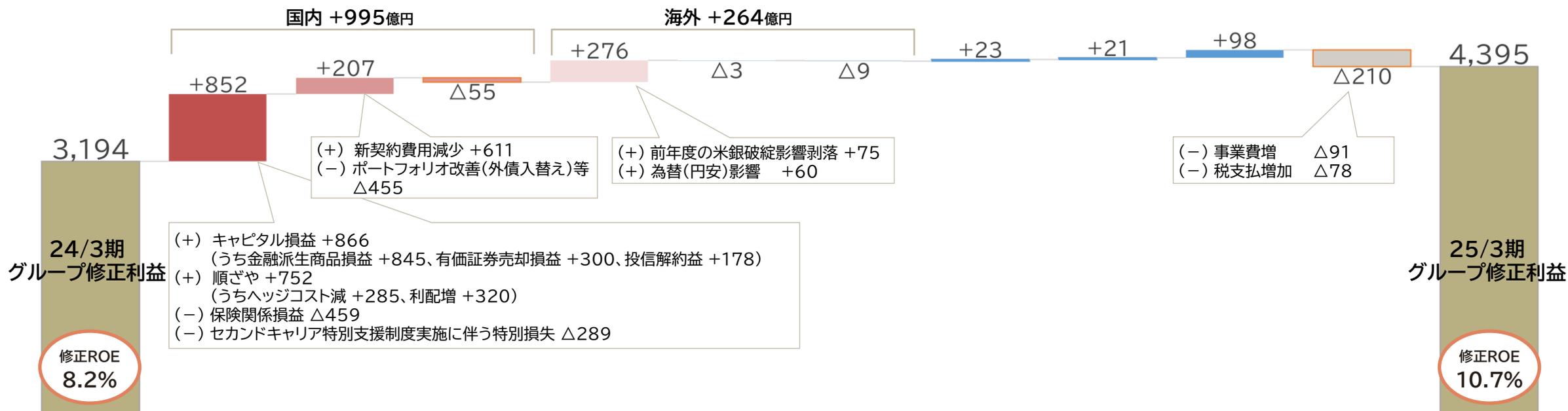
(1)事業別・各社別の修正利益・通期予想比については、DL・DFL・NFL・TALにおけるグループ内再保険に係る損益等を調整した数値を表示 (2)PLC・TAL・PNZは25/3期より修正利益の基準を変更。前期比は旧基準との対比

決算のポイント – グループ修正利益(前期比増減)

- ▶ グループ修正利益は前期比+38%の4,395億円
- ▶ DLにおいて経済環境の追い風もあり、PE等のオルタナティブ資産等において利息配当金収入が増加したことで順ざやが改善し増益となった他、DFLの新契約費用が減少したことやPLCにおける一過性損失の剥落・事業費削減等を主な要因として、国内・海外ともに前期比で増益となった

グループ修正利益・前期比変動要因

(億円)



	DL	DFL	NFL/ipet	PLC ⁽¹⁾	オセアニア ⁽¹⁾	アジア	非保険事業 (AM)	非保険事業 (パネフィット・ワン)	DLRe	HD/その他	
25/3期	2,881	323	$\Delta 43$	574	421	150	59	21	249	$\Delta 240$	4,395
24/3期	2,029	116	11	298	425	159	36	-	151	$\Delta 30$	3,194

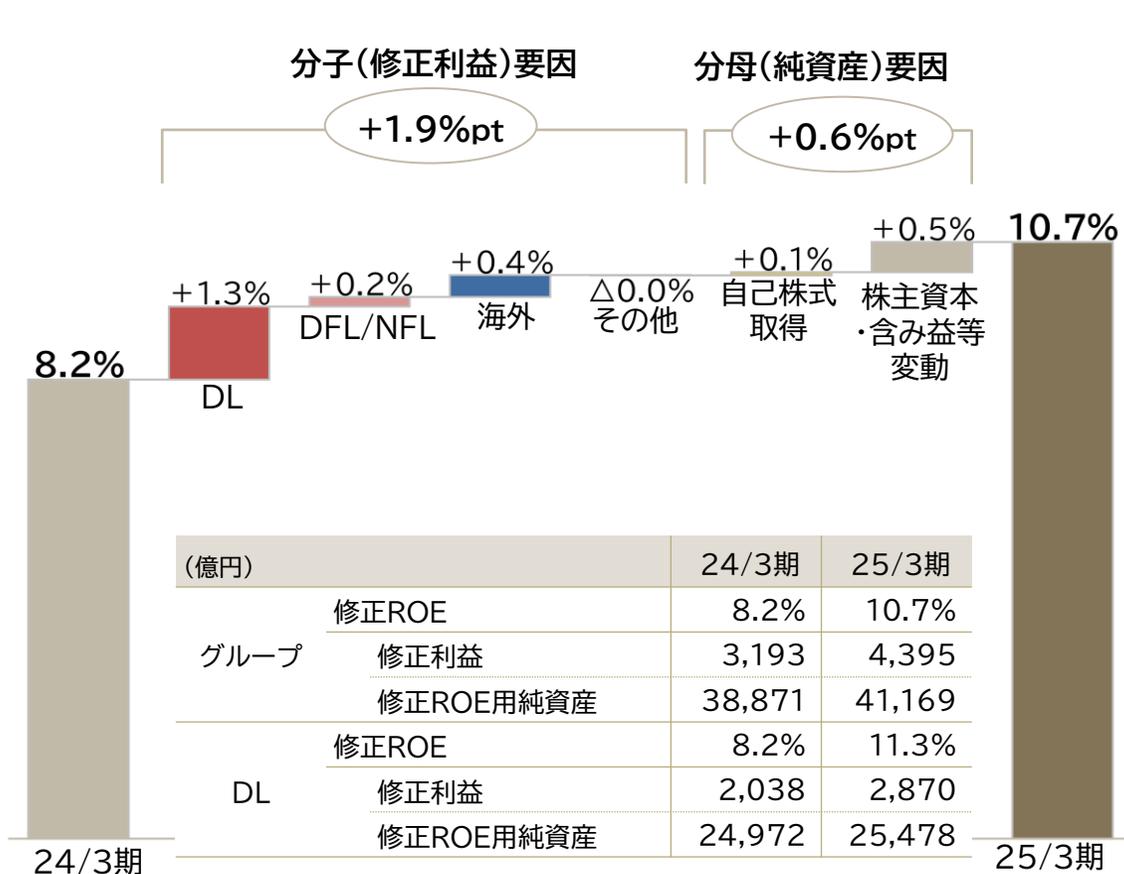
(1) PLC・TAL・PNZは25/3期より修正利益の基準を変更。24/3期の修正利益は旧基準



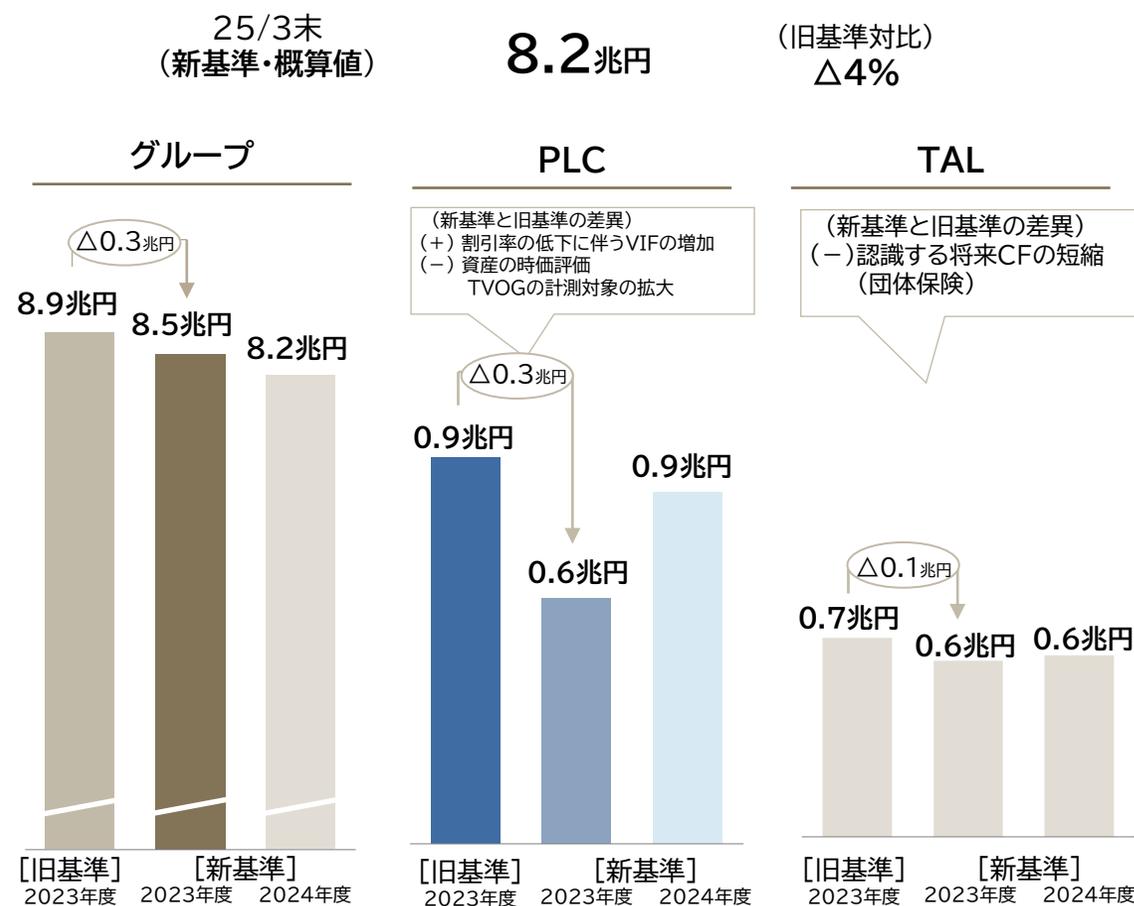
決算のポイント - グループ修正ROE・グループEV(概算値)

- ▶ グループ修正ROEは、グループ修正利益の増益と自己株式取得などにより前期比+2.5%pt上昇の10.7%
- ▶ グループEV(概算値)は、今回より海外子会社を含め新基準に基づく算出。旧基準で伝統的手法を採用していた子会社では評価手法の違いから価値が変動

グループ修正ROE



グループEV

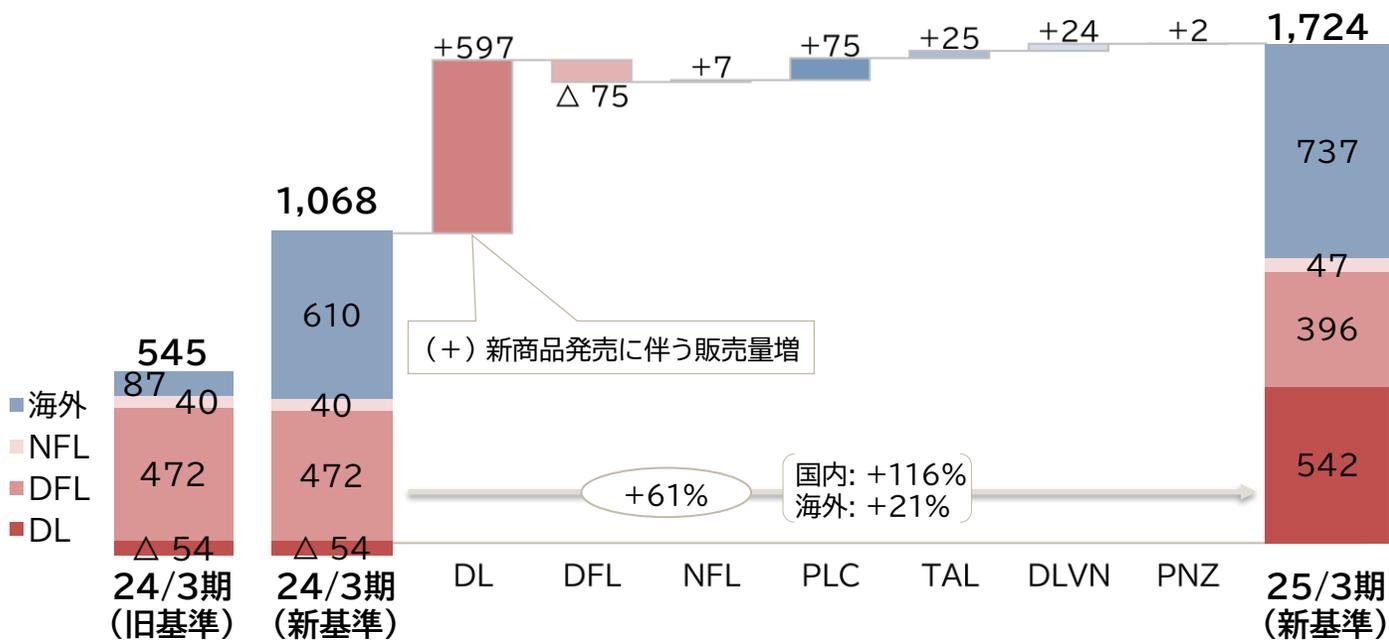


決算のポイント – 新契約業績(グループ新契約価値)

- ▶ グループ新契約価値は、今回より海外子会社についても新基準での算出を開始。新基準の適用に伴い海外子会社の算出方法が変更となり、旧基準で伝統的手法を採用していた子会社で保障性商品において割引率が低下し評価が向上したこと等によって、新契約価値が増加
- ▶ グループ全体では前期比(新基準ベース)+61%増の1,724億円。DLで新商品投入に伴う活動量増加に伴い大きく増収となったほか、海外各社については円安の影響も受け、前期比(新基準)で数値を伸ばした

グループ新契約価値⁽¹⁾の変動要因

(億円)



各社毎の新契約価値の増減要因

DL	(+) 販売量増加により増加 (-) 金利上昇に伴うMOCE増加
DFL	(+) 新契約マージン増加 (-) 販売量減少に伴い減少
NFL	(+) 新契約マージン増加
PLC	(+) 経営者保険の販売量増加、円安影響
TAL	(+) 個人保険の販売回復
DLVN	(+) 販売商品ミックスの変化によるマージンの向上 (-) 銀行窓販チャネルの販売モメンタム低下による販売量減

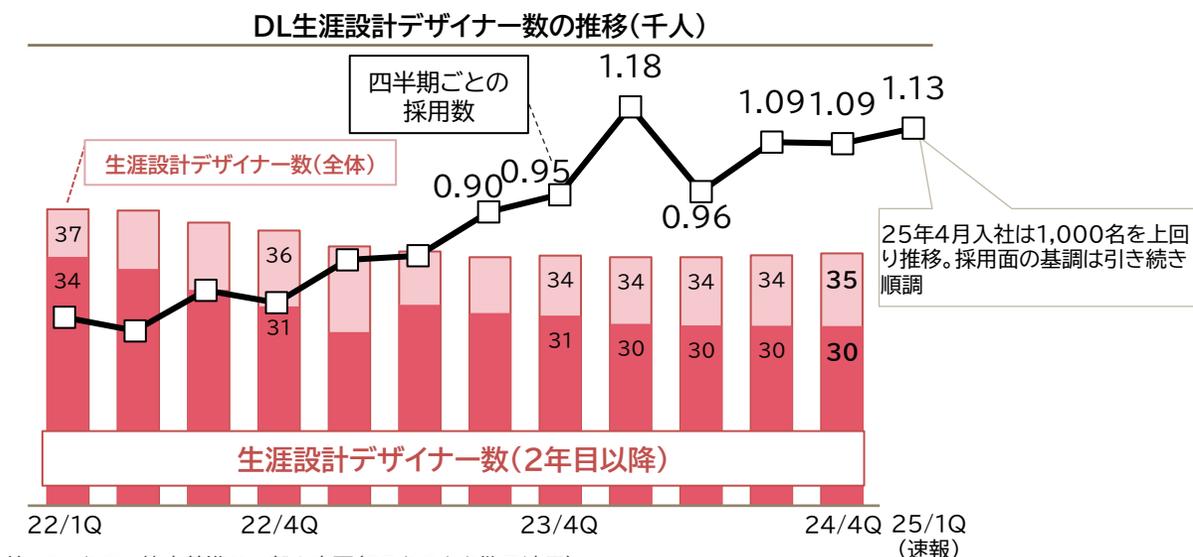
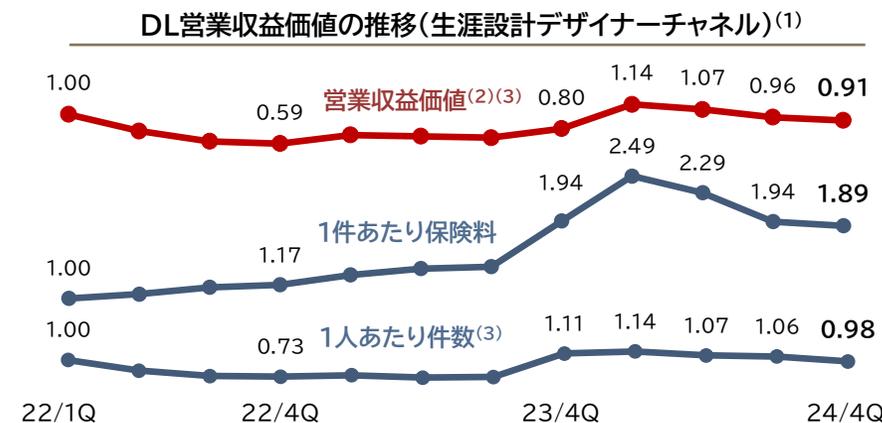
(1) 概算値

決算のポイント - 年換算保険料、DL契約業績・生涯設計デザイナー

- ▶ 新契約ANPIは、グループ全体で前期比+9%の5,464億円(為替影響除き +6%)。DFLは昨年の反動で減少した一方、PLCは好調な経営者保険の販売、TALは大型団保獲得で増加。海外全体では為替影響除きで前期比+52%(為替影響含み +62%)
- ▶ ステップジャンプ(2024年1月発売)の販売一巡でDLの営業収益価値は一服も4月は好調なスタート。生涯設計デザイナーの採用数は約4,300人と好調

(億円)	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	24/3期	25/3期	前期比	24/3末	25/3末	前期末比
国内4社計	3,787	3,457	Δ8.7%	32,634	33,198	+1.7% (+2.1%)
DL	576	960	+66.7%	19,495	19,450	Δ0.2%
うち第三分野	269	394	+46.6%	6,905	6,914	+0.1%
DFL	3,013	2,294	Δ23.8%	11,776	12,342	+4.8% (+5.8%)
うちDLチャンネル販売	685	350	Δ48.8%			
NFL	132	131	Δ0.4%	1,001	1,000	Δ0.1%
うちDLチャンネル販売	52	15	Δ71.6%			
ipet	67	72	+6.8%	362	406	+12.0%
海外6社計	1,243	2,007	+61.5% (+52.4%)	15,474	16,396	+6.0% (+1.6%)
PLC	836	1,214	+45.2% (+30.1%)	7,662	8,819	+15.1% (+3.2%)
TAL	136	502	+268.0% (+286.2%)	6,014	5,694	Δ5.3% (Δ0.6%)
PNZ	38	43	+13.9% (+20.9%)	559	557	Δ0.3% (+5.8%)
DLVN	219	222	+1.5% (Δ4.6%)	1,221	1,289	+5.6% (Δ0.7%)
DLKH/DLMM	13	26	+101.0% (+80.2%)	18	37	+102.3% (+81.3%)
第一生命グループ計	5,030	5,464	+8.6% (+6.4%)	48,108	49,593	+3.1% (+1.9%)

増減率の下段()は為替変動の影響を除く変化率



(1)2022年度1Qを1として指数化した数値。(2)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値。24/1Qに算出基準の一部を変更(23/1Qから遡及適用)

(3)1年目を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算

2026年3月期 通期業績予想

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業

Dai-ichi Life Holdings



▶ グループ修正利益は、利配収入や保険関係損益の減少によりDLで減益となる一方で、DFLやPLC等の増益、アセットマネジメント事業の貢献等により4,100億円を見込む。なお、PLCについては前期に実施した再保険取引の影響により会計上減益となるが、当該影響については修正利益の計算対象外

(億円)	26/3期 通期予想	25/3期 通期実績比	(%)	24/3期 通期実績	25/3期 通期実績	前期比	(%)	25/3期 通期予想	対通期予想 達成率
連結経常収益	91,620	△ 7,113	△ 7%	110,282	98,733	△ 11,549	△ 10%	101,920	97%
第一生命	40,220	△ 3,930	△ 9%	40,870	44,150	+ 3,279	+ 8%	42,610	104%
第一フロンティア生命	28,020	△ 6,937	△ 20%	43,938	34,957	△ 8,981	△ 20%	34,330	102%
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	11,200	△ 2,668	△ 19%	13,532	13,868	+ 336	+ 2%	14,980	93%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	7,380	△ 796	△ 10%	8,574	8,176	△ 398	△ 5%	7,500	109%
連結経常利益	6,170	△ 1,021	△ 14%	5,390	7,191	+ 1,801	+ 33%	6,880	105%
第一生命	4,880	△ 506	△ 9%	3,913	5,386	+ 1,473	+ 38%	5,110	105%
第一フロンティア生命	520	+ 21	+ 4%	211	499	+ 289	+ 137%	590	85%
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	300	△ 166	△ 36%	138	466	+ 329	+ 238%	460	101%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	650	+ 44	+ 7%	610	606	△ 4	△ 1%	560	108%
連結純利益⁽²⁾	3,470	△ 826	△ 19%	3,208	4,296	+ 1,088	+ 34%	3,850	112%
第一生命	2,670	△ 385	△ 13%	2,039	3,055	+ 1,016	+ 50%	2,650	115%
第一フロンティア生命	350	+ 21	+ 6%	157	329	+ 172	+ 110%	360	91%
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	240	△ 149	△ 38%	116	389	+ 273	+ 235%	380	102%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	450	+ 34	+ 8%	430	416	△ 14	△ 3%	390	107%
グループ修正利益⁽³⁾	4,100程度	△ 295	△ 7%	3,194	4,395	+ 1,201	+ 38%	4,150程度	106%
グループ新契約価値⁽⁴⁾	1,900程度	+ 176	+ 10%	1,066	1,724	+ 658	+ 62%	1,050程度	-
1株あたり配当(円)⁽⁵⁾	48	+ 14	+ 40%	28	34	+ 6		33	
(参考)株式分割前	192	+ 55	+ 40%	113	137	+ 24		133	
(参考)基礎利益	5,500程度	△ 888	△ 14%	5,252	6,388	+ 1,136	+ 22%	6,000程度	106%
第一生命	3,100程度	△ 503	△ 14%	3,310	3,603	+ 293	+ 9%	3,400程度	106%

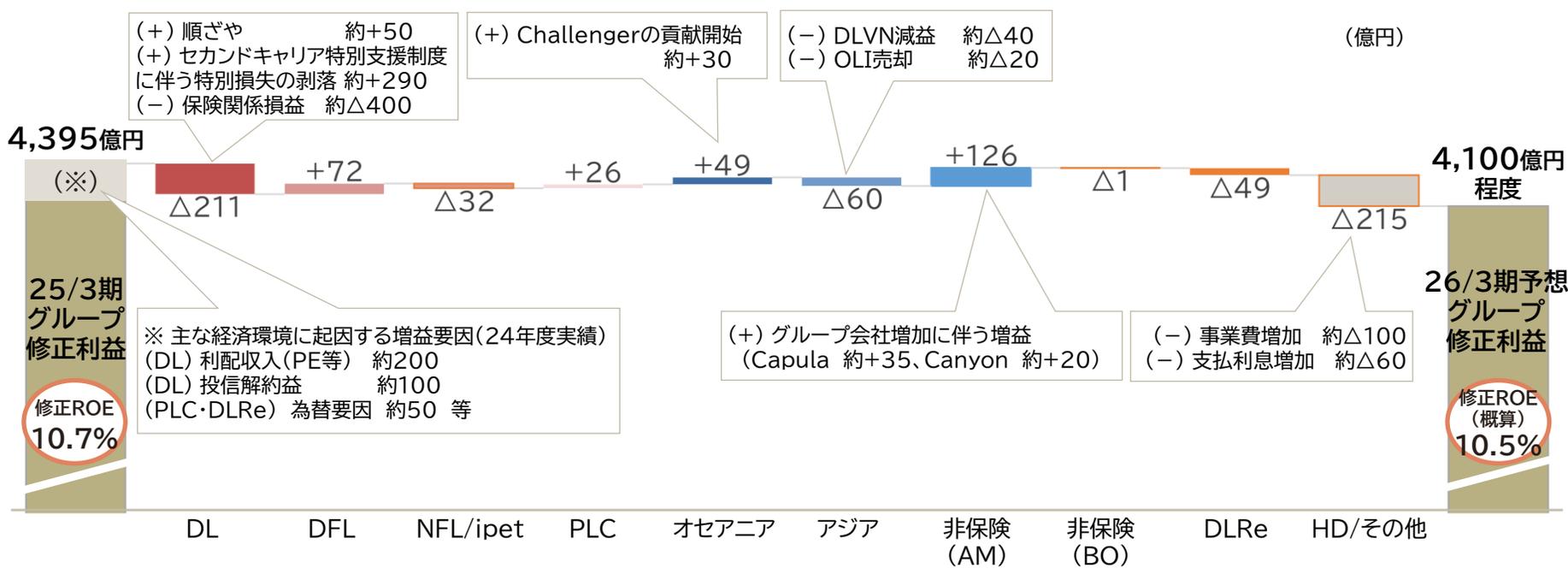
(1)PLCおよびTALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2)親会社株主に帰属する当期純利益 (3)PLC・TAL・PNZの24/3期の修正利益は旧基準 (4)新契約価値は新基準ベース。25/3期通期予想のみ旧基準 (5)25/3期通期予想の1株あたり配当は、株式分割(4分割)後の配当金(25/3期以前は、株式分割を考慮した換算額)。下段は、株式分割前の配当金(25/3期以前は実績、26/3期は換算額)



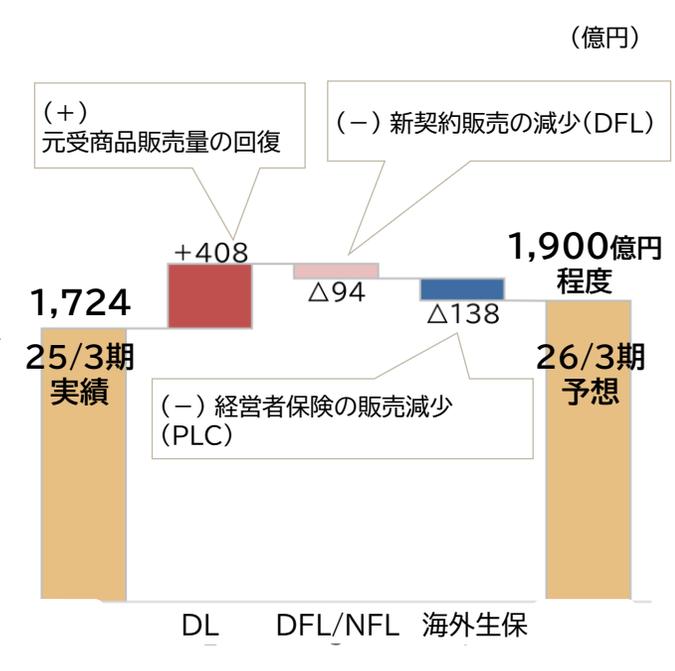
2026年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

- ▶ DLで、前期の経済環境要因の利配収入が剥落するほか、保険関係損益の減少に伴い減益を見込むが、DFLやオセアニア等の着実な増益により一部を相殺。また、非保険事業におけるアセットマネジメント事業では、近年の戦略投資案件からの早期の利益貢献が見込まれ、2025年度のグループ修正利益は2024年度に続き4,000億円を超える4,100億円を見込む。ROEも2024年度に続いて10%を上回る見通し
- ▶ グループ新契約価値は、販売量の減少が見込まれるDFL・PLCで減少する一方で、新商品の投入により元受商品の販売拡大を見込むDLで前期より増加を見込むことから、グループ全体の予想は1,900億円程度

グループ修正利益予想・前期比変動要因



グループ新契約価値予想・前期比変動要因



26/3期予想	2,670	395	Δ75	600	470	90	185	20	200	Δ455	4,100程度
25/3期	2,881	323	Δ43	574	421	150	59	21	249	Δ240	4,395

26/3期予想	950	350	600	1,900程度
25/3期	542	444	738	1,724

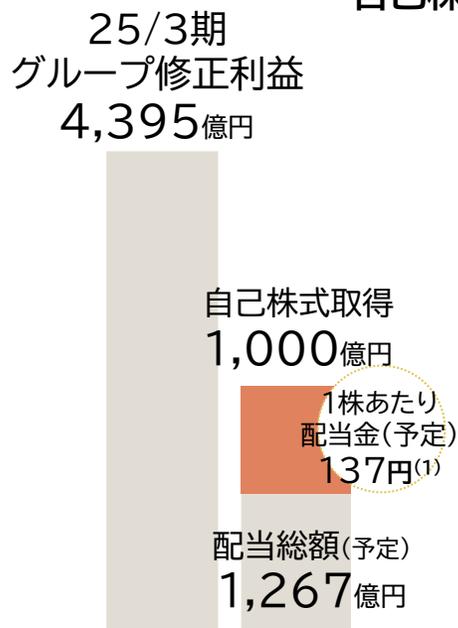
- ▶ 25/3期の株主還元は、1株あたり配当金(DPS)137円⁽¹⁾(修正予想対比+4円・期初予想対比+15円)を決定⁽²⁾。
追加還元として、資本効率改善に対する確度を高めること等を目的に、引き続き上限1,000億円とする自己株式取得を決定
- ▶ 26/3期の1株あたり配当金は、資本効率の改善に向けた取組みが着実に進展していることを踏まえ、配当性向の45%への引上げを前提とし、25/3期の増益や計算前提となる3年平均利益の増加に伴い、大幅増配となる48円(株式分割前:192円)を予想

株主還元

[自己株式消却方針] 用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

25/3期 株主還元

1株あたり配当金は前期比24円増配の137円⁽¹⁾
自己株式取得は上限1,000億円とすることを決定済



追加還元

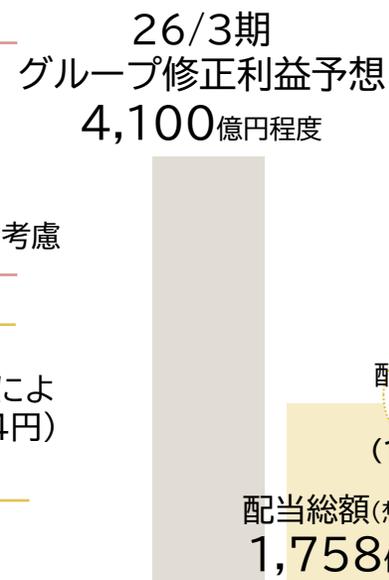
- 自己株式取得
上限1,000億円を決定
- HDキャッシュや当社株価、
資本充足率(概算値 約211%)の状況などを考慮

現金配当

- 過去最高益となったグループ修正利益の増益により、1株あたり配当金は137円⁽¹⁾(前期比+24円)

26/3期 株主還元(予想)

3年平均グループ修正利益は増益、
配当性向45%を適用した結果として、
1株あたり配当金は、48円(分割前192円)を予想



追加還元

- 資本充足率や資本効率の改善状況等を踏まえ、
機動的・柔軟な追加還元を検討
(総還元性向の目安: 中期平均50%)

現金配当

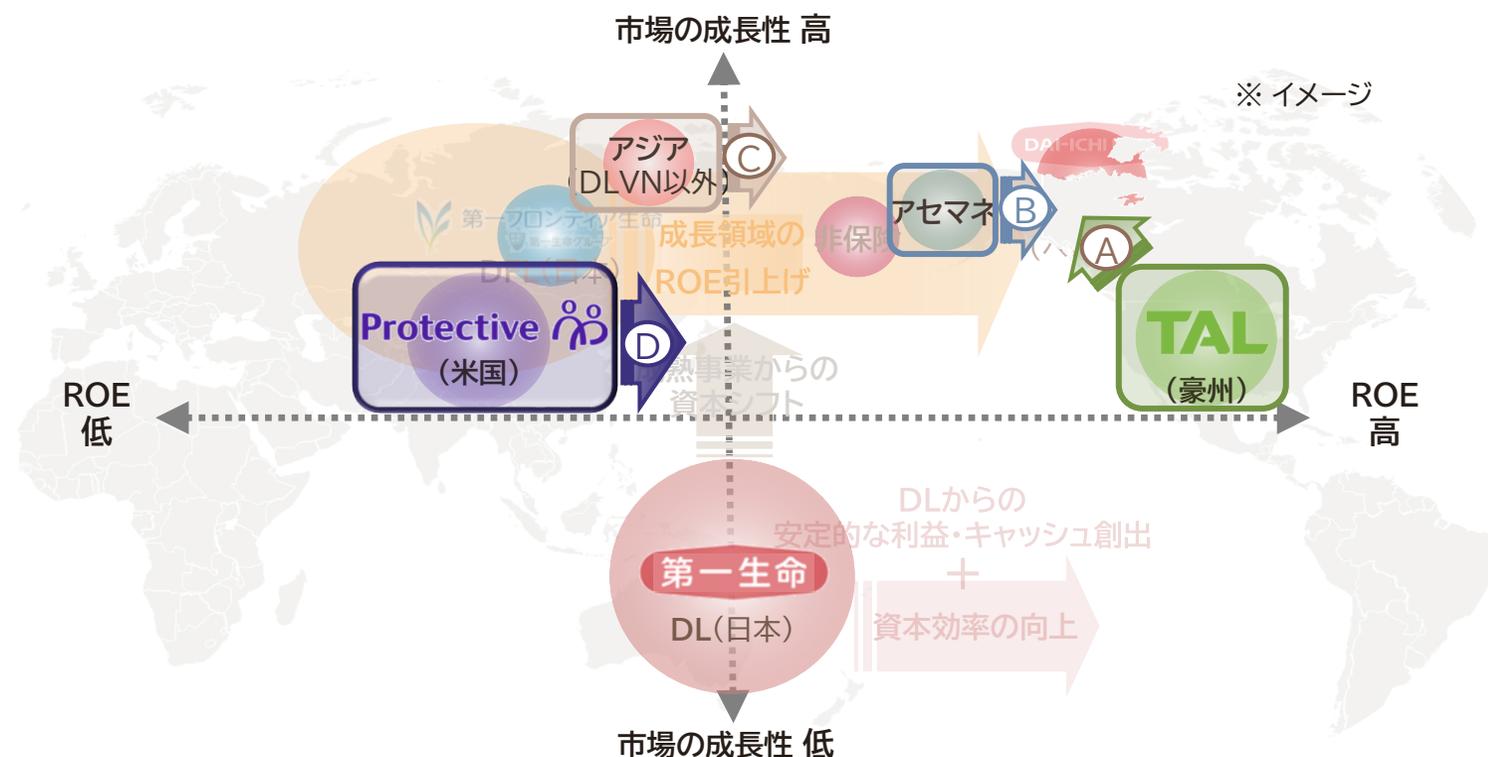
- 26/3期グループ修正利益通期予想を含めた
過去3年平均のグループ修正利益は増益、配
当性向45%を適用し、1株当たり配当金は大
幅増配の48円(25/3期比 +14円)を予想
※分割前のDPSは192円(前期比 +55円)

(1) 2025年3月期の期末配当については、2025/4/1を効力発生日として実施した株式分割を実施する前の株式数を基準とした金額 (2)6月の株主総会での決議を経て確定
(3) 括弧内は株式分割前の配当金

- ▶ 更なる資本効率向上に向けて、2025年に入り複数の資本戦略案件を通じた事業ポートフォリオの入替えを実施
- ▶ 既存事業の中で相対的に収益性や成長性が低い事業については、資本効率の最適化を目的に、当社グループの“目指す姿”に向けた適切なキャピタルアロケーションを推進
- ▶ より資本効率の高い事業への資本配賦を今後も推進することで、当社グループの成長を加速させるとともに継続的な資本効率の向上を目指す

直近の資本戦略案件

- A challenger への出資** 市場成長の享受
 - ▶ 豪州生保市場における更なる成長機会を得るべく、既存事業とのシナジーが見込める同国リタイアメント市場に参入
- B CAPULA™への追加出資** 収益力向上
 - ▶ アセマネ戦略におけるオルタナ領域の強化および優良な投資採算性を背景とした追加出資
- C タイ事業(OLI)売却** 資本効率向上
 - ▶ 参入当初と比して同国の市場環境(将来性含む)が悪化、取組み優先度の低下に伴い売却
- D 外部出再取引(PLC)** 資本効率向上
 - ▶ 過去の買収時に付随取得した低収益ブロックを外部出再、事業ポートフォリオを改善





(参考)豪州子会社TALを通じたChallenger社への出資

- ▶ 当社子会社である豪TALを通じ、Challenger Limited(以下、「Challenger社」)の発行済株式15.1%をMS&ADインシュランスホールディングス株式会社より取得
- ▶ Challenger社は豪個人年金市場におけるリーディングカンパニーであり、同社への出資により今後見込まれるリタイアメント市場の拡大から生まれる利益享受が可能となる(持分法適用を前提に、年間60-80億円の収益貢献を見込む)

案件概要 (2025年4月7日リリース)

出資対象	Challenger Limited (傘下に生命保険事業およびアセットマネジメント事業を有する豪州の金融グループ)
上場市場	豪州証券取引所 (ASX)上場
出資金額	800億円(全額TALの手元資金で対応予定)
出資比率	15.1%(認可後に持分法適用会社とすることを目指す)
取引完了時期	2025年度下半期予定 ⁽¹⁾
ESRへの影響	影響は限定的

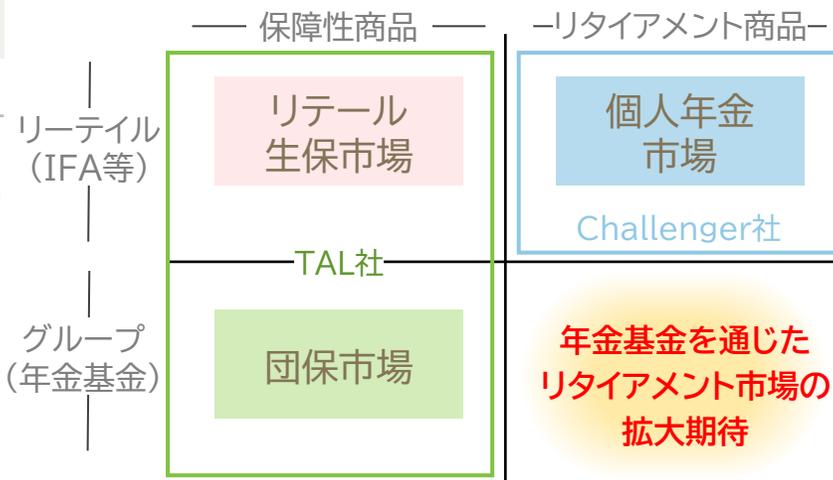
Challenger社の企業概要

純資産	3,848百万豪ドル ⁽²⁾
従業員数	566名 ⁽²⁾
調整後利益(税後)	417百万豪ドル(2024年度)
受託資産残高(AUM)	127十億豪ドル(2024年度)

豪リタイアメント市場の概要

- ✓ 豪州は世界有数の退職年金市場(世界第4位⁽³⁾)
- ✓ 65歳以上加入者の資産規模は直近で1.1兆豪ドル(約110兆円)を超過
- ✓ 今後も65歳以上人口の増加とそれに伴う資産の増加によって、2041年までに3兆豪ドル以上に達する見込み

【豪州生命保険市場】



【豪リタイアメント市場の見通し】



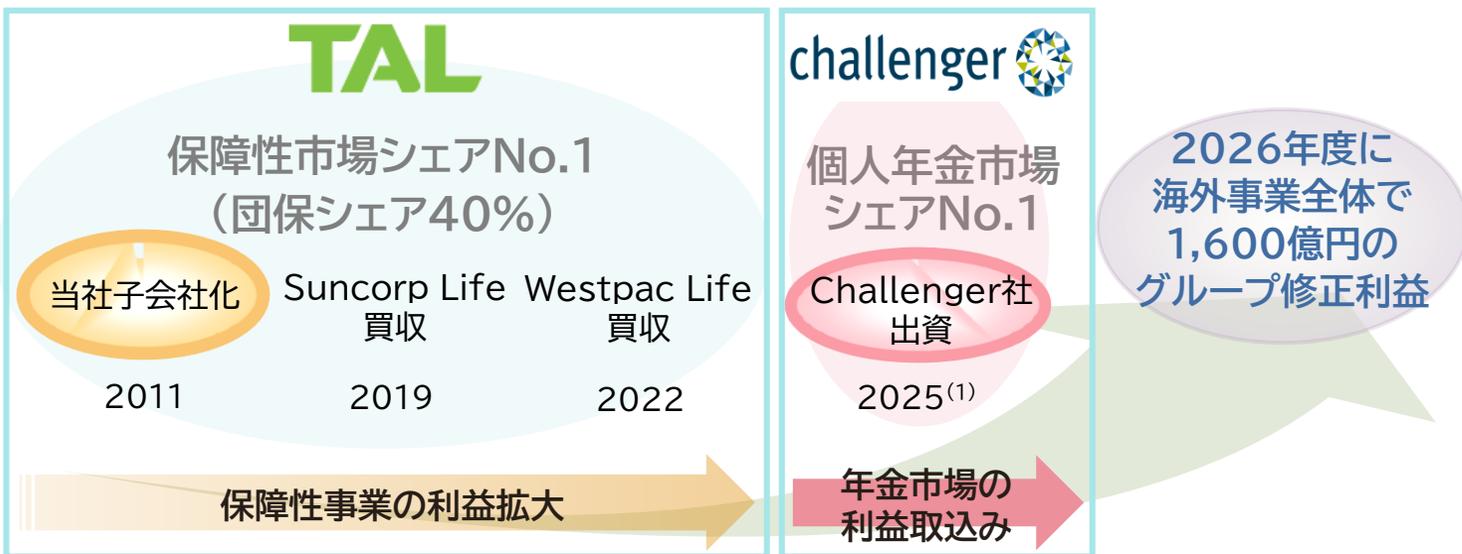
(1) 関係当局等からの許可・承認が前提 (2) 2024年12月末時点 (3) GDP対比順位(退職年金資産/GDP)(%)

戦略的意義

- ▶ 今後、高齢化の進行等によって規模拡大が期待される豪州リタイアメント事業への参入を通じて、団体保険事業に強みを持つTALの競争優位性を活かしつつ、豪リタイアメント市場の拡大に伴う収益取込みを企図
- ▶ TALの強みである年金基金との関係性や事務構築ノウハウとChallenger社の有する商品開発やALM・資産運用ノウハウを相互に共有することで、今後期待される市場拡大に機動的に対応

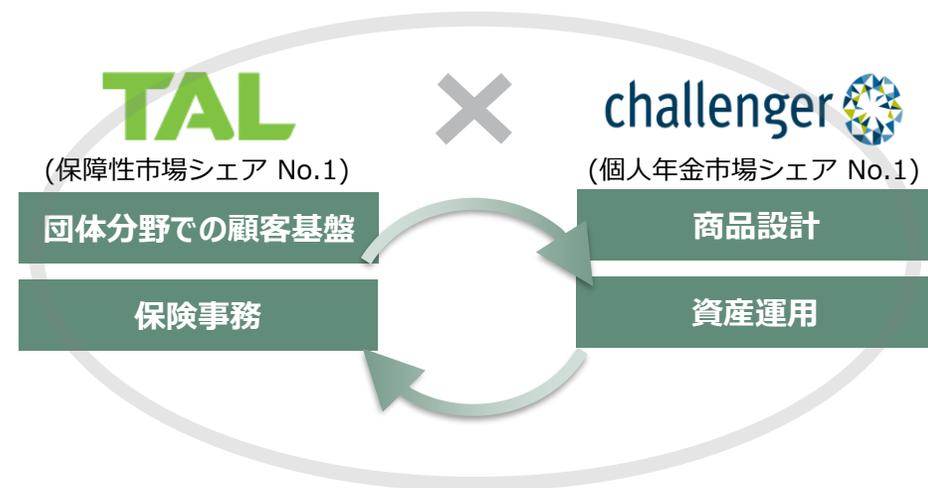
TALの成長の軌跡

- ✓ 当社グループ会社化以降、年金基金での団体保険提供や2件の買収 (Suncorp Life、Westpac Life)等を経て、豪州保障性市場シェアNo.1を不動のものに
- ✓ 豪州国内における更なる成長に向け、成長が見込まれるリタイアメント市場からの収益取込みを企図



TALにおける戦略的意義

- ✓ お互いの強みを活かしながら、両社は補完的な提案で協業し、オーストラリアの保険およびリタイアメント市場における双方の成長を目指す



(1) 関係当局等からの許可・承認が前提



(参考) 英Capula社への追加出資

- ▶ グローバル債券運用やデリバティブを用いたヘッジ戦略に強みを有する英国の有力オルタナティブ運用会社であるCapula Investment Management LLPおよびCapula Management Limited(以下、両社を合わせて「Capula社」)に対して、約10.3%の追加出資を決定(DLが約4.7%を出資済)
- ▶ 2014年のDLによる出資以降、ファンド投資や人的交流等を通じた相互理解を醸成。今回の出資により、Capula社の有するヘッジ戦略におけるグローバルトップクラスのノウハウを生かした商品開発における協業に加え、今後も成長が見込まれるオルタナティブ市場の成長取込みを目指す

案件概要 (2025年5月12日リリース)

出資対象	Capula Investment Management LLP およびCapula Management Limited (英国の有力オルタナティブ運用会社)
出資金額	非公開
出資比率	15% ⁽¹⁾ (持分法適用見込み)
出資完了時期	2025年5月(予定)
グループ修正利益への貢献	年間50億円程度の利益貢献を見込む ⁽²⁾
ESRへの影響	影響は限定的

Capula社の企業概要

受託資産残高 (AUM)	31.8十億米ドル ⁽³⁾
従業員数	408名 ⁽³⁾

オルタナティブ資産市場でのCapula社のパフォーマンス

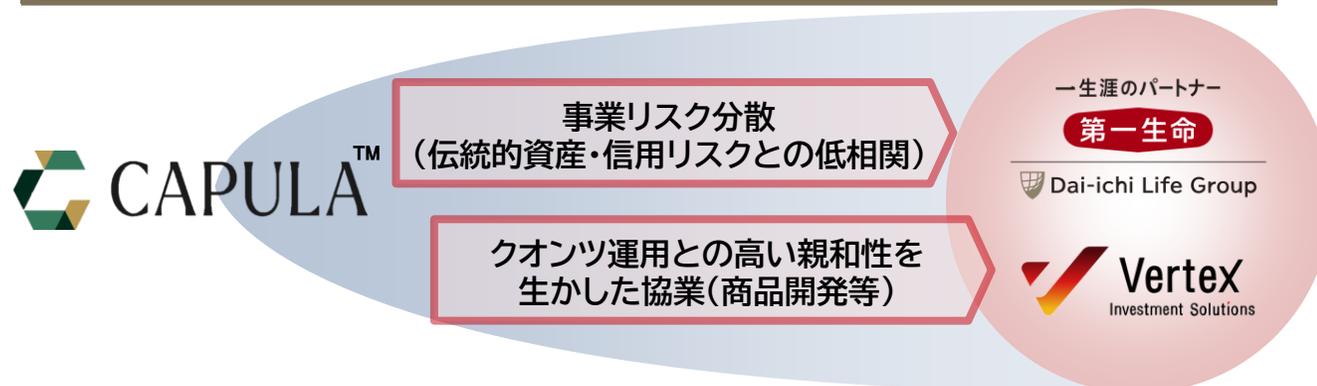
旗艦ファンド(GRV)は、設定(2005年)以来ネガティブパフォーマンスとなった年はなく、低金利環境下でも平均で年率 8.28%(設定来の投資倍率換算で約4.8倍)のリターンを実現。

パフォーマンス (年率ベース、2024年12月末時点)

	1年	3年	5年	設定来
Global Relative Value(GRV)	6.35%	9.19%	6.99%	8.28%
Multi Strategy (MSF)	5.80%	10.28%	-	10.28%

※本プレゼンテーションには、Capulaの投資商品またはサービスへの投資の申し出や勧誘は一切含まれておりません。かかる申し出は、正式な募集文書を通じて、かつ適用される法律が許す場合に限り行われるものです。Capulaおよびそのファンドに関するデータは、Capulaによる確認または承認を受けたものではありません。

当社グループにおけるCapula社の活用可能性



(1) DL出資分合算 (2) 出資持分15%ベース (3) 2024年12月末時点



(参考) 資本効率向上に向けた取組み(米PLCにおける再保険活用・タイ事業売却)

- ▶ 米PLCにおいて、戦略的な再保険取引を実行し、自社の従来のリテール販売を通じて取得した契約および過去の保険ブロック買収によって取得した契約に係る約9.7十億ドルの責任準備金を出再。本取引は、PLCの収益性、財務健全性、および資本効率の向上に寄与。
- ▶ また、海外事業においては資本効率の向上を目的に事業ポートフォリオの最適化を進めており、その一環として、市場成長性の鈍化等により事業戦略上の優先度が低下したタイ事業(Ocean Life)の売却を決定

米プロテクティブ社 再保険取引概要 (2025年3月7日リリース)

出再対象ブロック	無失効保証付ユニバーサル保険(SGUL)、賠償年金(SS)(法定責任準備金ベース 9.7十億米ドル相当)
出再スキーム	修正共同保険式再保険(Modco)、資産留保型共同保険式再保険(Co FWH)
取引完了時期	～2025年10月(予定)
グループ修正利益への貢献	中長期的に30-40百万米ドル改善
グループESRへの影響	+2%程度の改善効果



- ▶ 利益および自己資本利益率(ROE)の向上
- ▶ 成長投資に向けた資本の創出
- ▶ 市場リスクへのエクスポージャーの低減

資本の効率化および市場リスクの低減を目的とした戦略的な再保険取引を実施。SSおよびSGULを中心とする保有契約ブロック(準備金総額9.7十億ドル)を対象に実施。

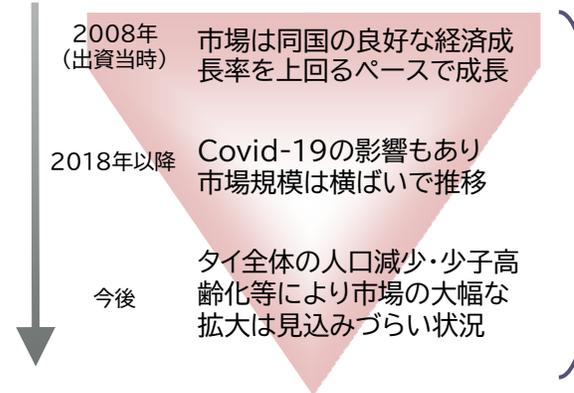


今回の取引により追加で計上される部分

タイ事業(Ocean Life)の売却(2025年5月13日リリース)

売却対象会社	Ocean Life Insurance Public Company Limited
資本金	2,598百万タイバーツ
当社グループの出資割合	24.0% (2024年12月末時点)
売却先	Ocean Life創業者一族
その他	今期中に特別利益を計上見込み(修正利益対象外)

タイにおける生保市場の変化



他地域と比較し 相対的な取組み優先度が低下

資本効率最適化に向けた 事業ポートフォリオの再編を実施

(1) 繰延負債項目(Cost of Reinsurance)



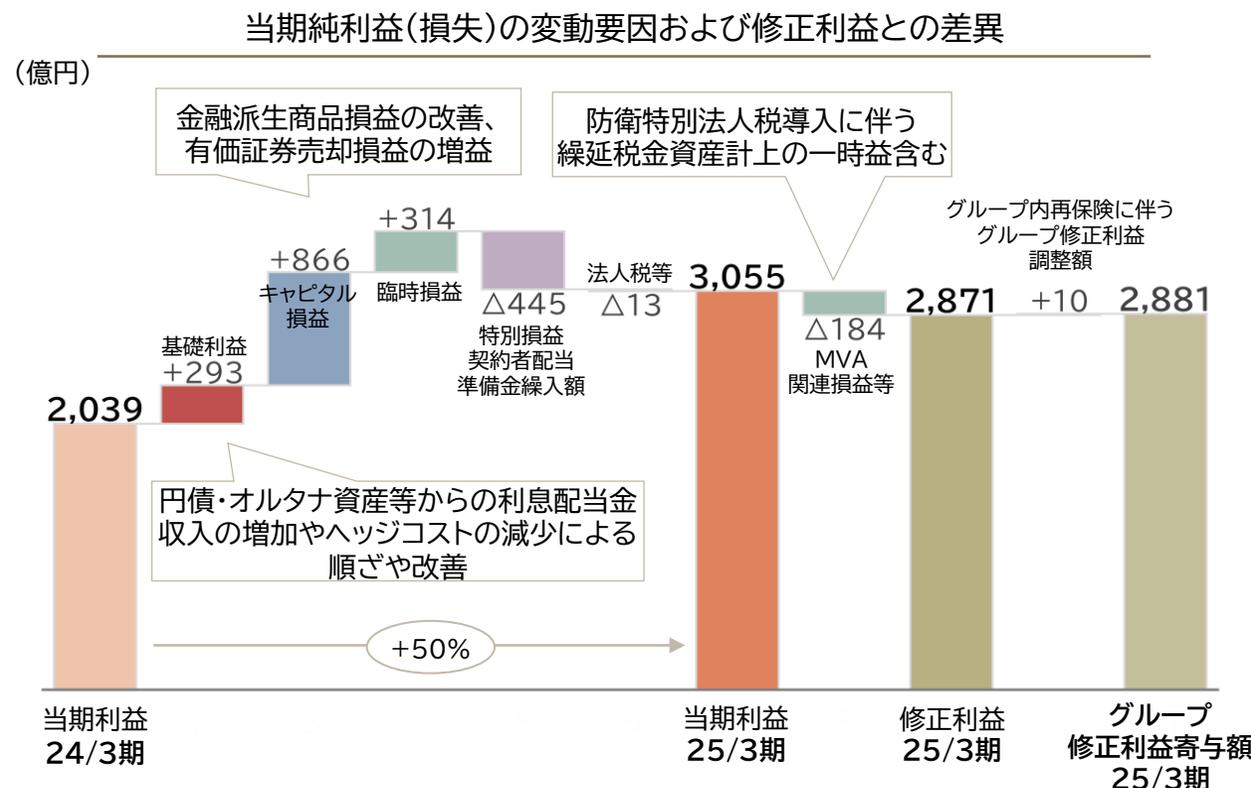
グループ各社の業績概要

- ▶ 基礎利益は、事業費増加等に伴い保険関係損益は減益も、円建債券・オルタナ資産の利配収入増加やヘッジコストの減少等による順ざや改善に伴い、前期比+9%増の3,603億円
- ▶ 修正利益は、基礎利益の増益に加え、金融派生商品損益の改善や、有価証券売却益および投信解約益の増益等により、前期比+41%増の2,871億円

単体業績

(億円)	24/3期	25/3期	前期比	(%)
保険料等収入	22,898	21,384	△ 1,515	△ 7%
基礎利益	3,310	3,603	+ 293	+ 9%
順ざや	502	1,253	+ 752	+ 150%
うちヘッジコスト	△ 693	△ 408	+ 285	
保険関係損益	2,808	2,350	△ 459	△ 16%
キャピタル損益	1,033	1,899	+ 866	+ 84%
有価証券売却損益	1,466	1,766	+ 300	
投信解約損益	143	321	+ 178	
金融派生商品損益	△ 992	△ 147	+ 845	
為替差損益(除くヘッジコスト)	437	△ 134	△ 570	
有価証券評価損	△ 32	△ 48	△ 16	
臨時損益	△ 430	△ 115	+ 314	-
新規追加責任準備金繰入額	△ 606	△ 496	+ 110	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	270	150	△ 120	
再保険関連収支	△ 87	234	+ 322	
経常利益(損失)	3,913	5,386	+ 1,473	+ 38%
特別損益	△ 184	△ 504	△ 320	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 130	△ 120	+ 10	
契約者配当準備金繰入額	△ 875	△ 1,000	△ 125	
法人税等合計	△ 815	△ 828	△ 13	
当期純利益(損失)	2,039	3,055	+ 1,016	+ 50%
(参考)基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽¹⁾	約+230	約+235	約+5	

(億円)	24/3期	25/3期	前期比 [%]	達成率 (対通期予想)
修正利益	2,039	2,871	+832 [+41%]	108%



(1) 再保険取引の影響額:19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

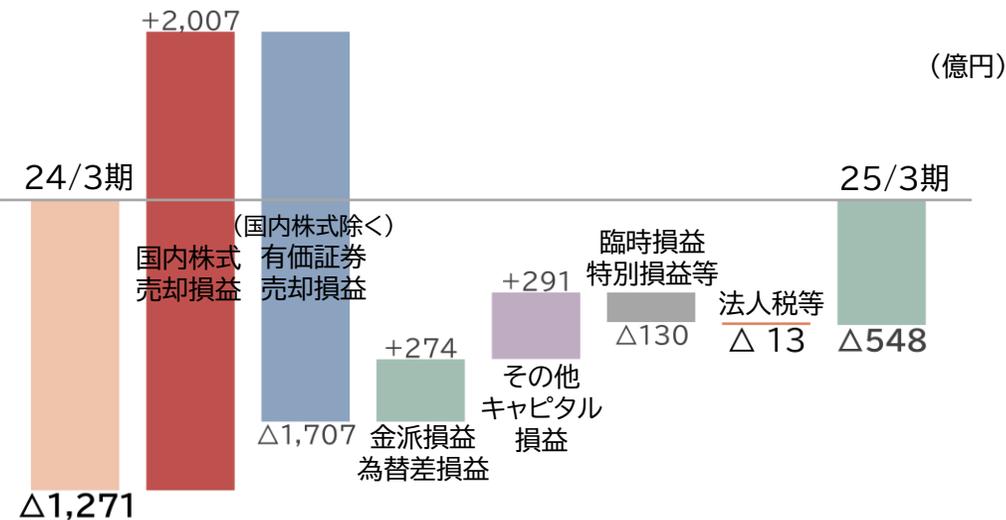


基礎利益の変動要因



- ✓ 一般勘定運用収支は、オルタナティブ資産・円建債券等の利息・配当金収入増加やハッジコスト改善等により、前期比増加
- ✓ 保険関係損益は、個人保険の保有契約減少に伴う危険差益・付加保険料の減少(Δ270億円)や事業費の増加(うち株式報酬制度の導入に係る費用(Δ約120億円)やDFL販売手数料の減少(Δ約90億円)等)により前期比減少

キャピタル損益等の変動要因



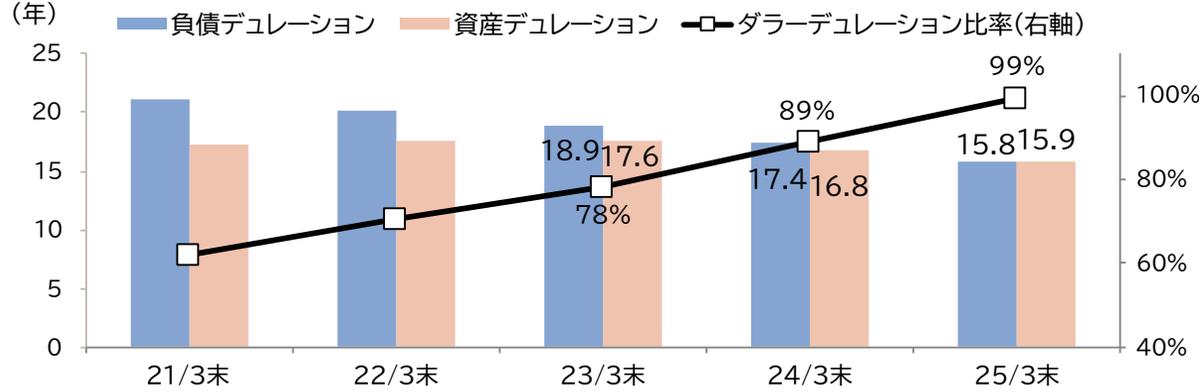
(億円)

	24/3期	25/3期	前年同期比	4Q累計予算比と増減要因
有価証券売却損益	1,466	1,766	+ 300	約+40
国内株式	2,128	4,136	+ 2,007	(+)株式売却前倒し・銘柄入替え
円建債券	Δ 195	Δ 2,464	Δ 2,269	(-)責任準備金対応債券の入替え
ハッジ外債	Δ 685	Δ 711	Δ 26	(-)ハッジ外債の削減・入替え
その他	218	806	+ 588	(+)オープン外債・外国株式の入替え等

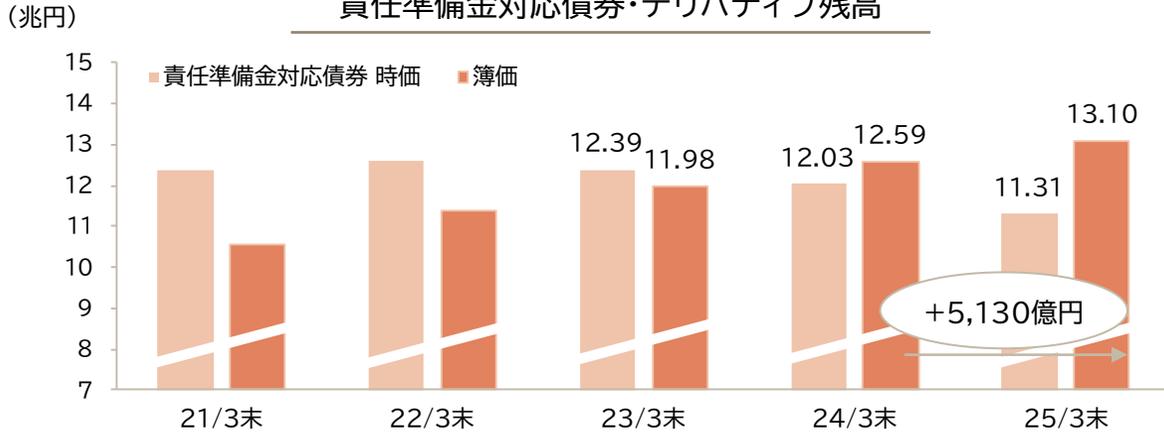
- ✓ 有価証券売却損益は、金利上昇に伴い、機動的に実施した責任準備金対応債券の入替え等に伴う円建債券の売却損増加を、国内株式売却益やリスク性資産の入替え等から発生した売却益の増加が上回り、前期比で増加
- ✓ 2024度の円建債券の積増し・入替えによる利回り改善効果は約+250億円/年(今期の利回り上昇への貢献は約+175億円)
- ✓ その他キャピタル損益は、主に投信解約益の増加(+181億円)により増益



デュレーションと責任準備金対応債券の積増し状況⁽¹⁾



責任準備金対応債券・デリバティブ残高



金利スワップ (保険負債へのヘッジ会計適用分) 7,000億円 7,000億円 7,000億円

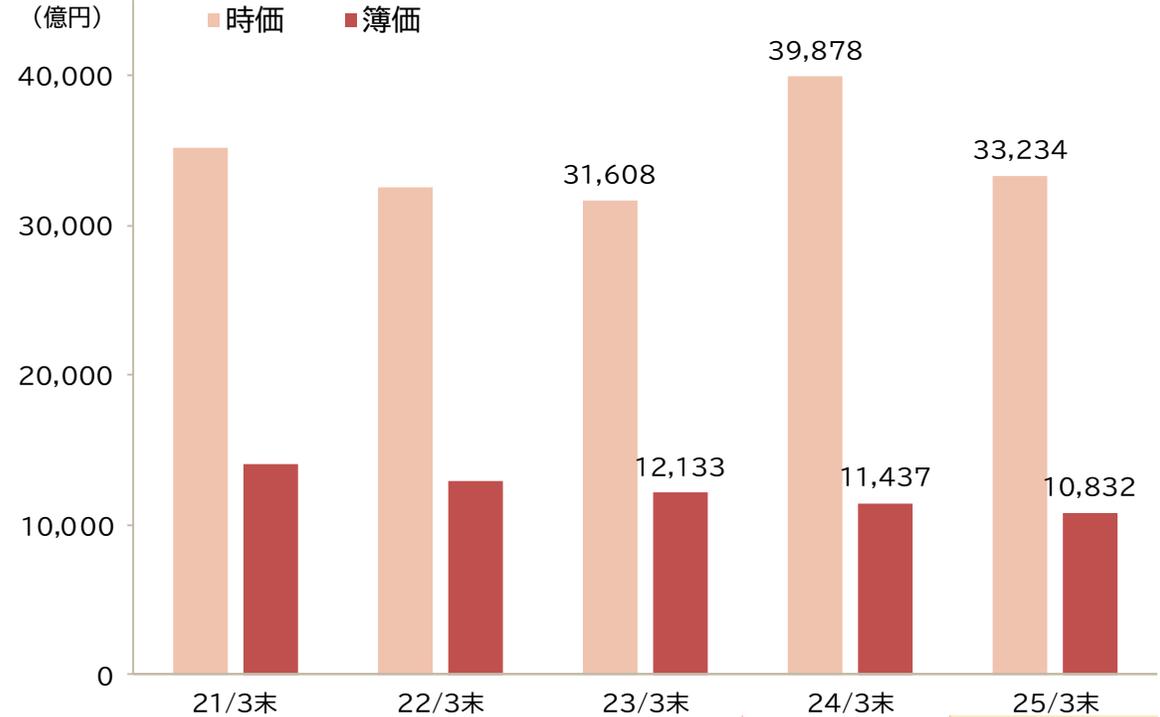
金利スワップシオン (固定受/変動払) - - -

国内株式の簿価・時価⁽²⁾

国内株式に関する売買状況 (2024年度累計)

ネット売却額 (時価ベース) 5,208億円

売却損益 +4,135億円



国内株式リスク削減ポジション (デリバティブ等のポジション残高) 6,727億円 7,199億円 5,564億円

[参考]外国株式リスク削減ポジション 399億円 203億円 -

(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高。「デュレーション比率」は、上記の資産・負債に関して「(資産デュレーション×資産時価)÷(負債デュレーション×負債現在価値)」にて計算。責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指す

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。25/3末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は533億円



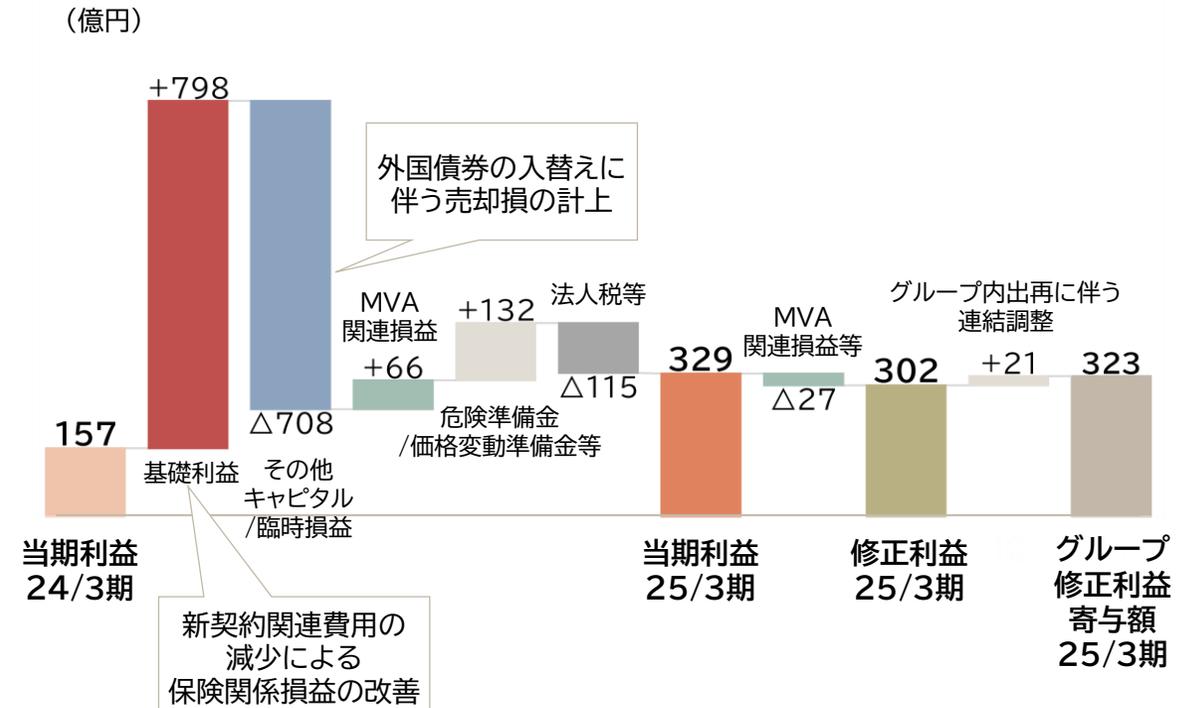
- ▶ 基礎利益は、新契約関連費用や標準責任準備金繰入額の減少等で、保険関係損益が対前期で大幅に改善し、881億円(前期は83億円)
- ▶ 修正利益は、外国債券の入替えに伴う売却損が増加したものの、基礎利益の増益と危険準備金の繰入れが減少したこと等により、302億円(前期は139億円)。グループ内への出再ブロックを含む利益貢献額は、497億円(前期は248億円)

単体業績

(億円)	24/3期	25/3期	前期比	(%)
保険料等収入	35,011	29,992	△ 5,018	△ 14%
基礎利益	83	881	+ 798	+ 958%
順ざや	423	473	+ 49	
保険関係損益等	△ 340	408	+ 749	
キャピタル損益	232	△ 324	△ 556	
MVA関連損益	△ 48	18	+ 66	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)等	279	△ 342	△ 622	
臨時損益	△ 104	△ 58	+ 47	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 169	△ 37	+ 132	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	65	△ 21	△ 86	
経常利益(損失)	211	499	+ 289	+ 137%
特別損益	△ 58	△ 59	△ 1	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 58	△ 58	-	
法人税等合計	4	△ 111	△ 115	
当期純利益(損失)	157	329	+ 172	+ 110%
基礎利益	83	881	+ 798	
その他キャピタル・その他臨時損益等	344	△ 364	△ 708	
MVA関連損益	△ 48	18	+ 66	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 223	△ 206	+ 17	
修正利益	139	302	+ 163	+ 117%
グループ内出再に伴う連結調整	△ 23	21	+ 44	
グループ修正利益寄与額	116	323	+ 207	+ 179%
グループ内への出再ブロックを含む利益貢献額	248	497	+ 250	+ 101%

(億円)	24/3期	25/3期	前期比 [%]	達成率 (対通期予想)
修正利益	139	302	+163 [+117]	86%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



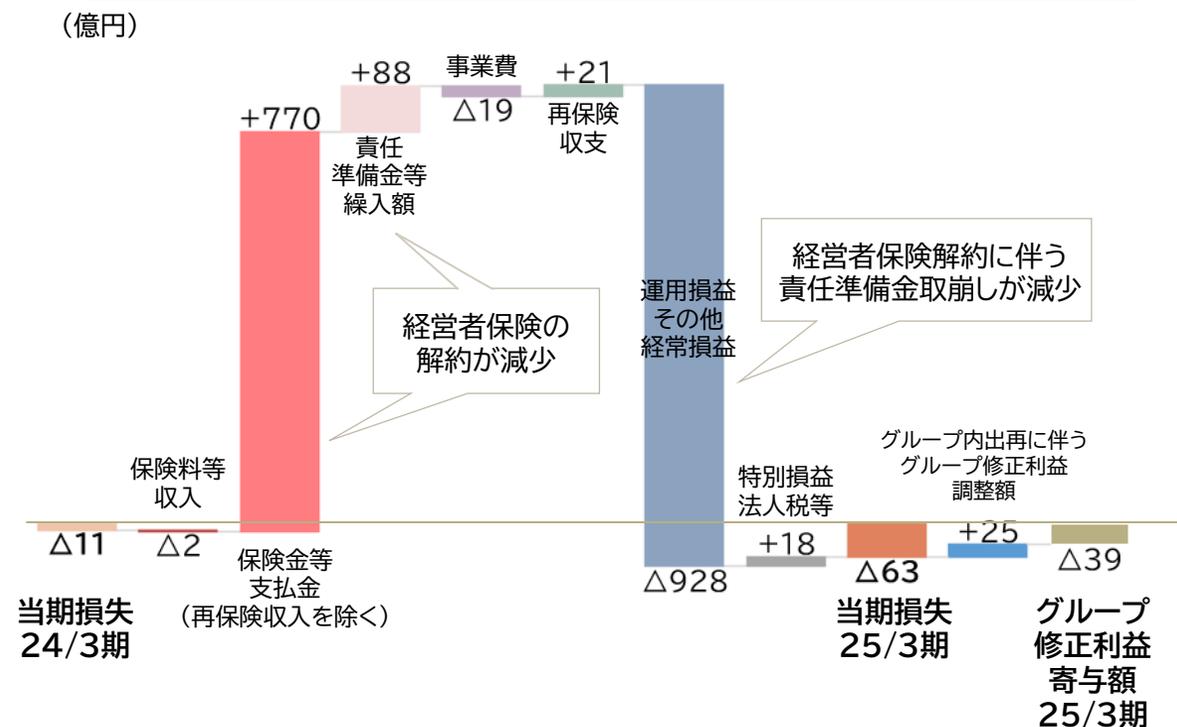
- ▶ 保険料等収入(再保険収入を除く)は、がん保険、三大疾病一時給付保険の販売が好調であったものの、経営者保険の解約に伴う保有契約の減少等により、前期比ほぼ横ばい
- ▶ 当期純利益は、昨年度からの経営者保険の解約に伴う保有契約の減少により△63億円(前期は△11億円)

単体業績

(億円)	24/3期	25/3期	前期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	1,020	1,018	△ 2	△ 0%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 1,370	△ 600	+ 770	
保険金・年金・給付金	△ 142	△ 168	△ 26	
解約返戻金・その他返戻金	△ 1,227	△ 432	+ 796	
責任準備金等繰入額	△ 233	△ 146	+ 88	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 3	△ 3	+ 0	
事業費	△ 344	△ 363	△ 19	
再保険収支	3	23	+ 21	
資産運用損益・その他経常損益	912	△ 16	△ 928	
資産運用損益	7	4	△ 4	
その他経常損益	904	△ 20	△ 924	
経常利益(損失)	△ 13	△ 83	△ 70	-
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	
法人税等合計	2	20	+ 18	
当期純利益(損失)	△ 11	△ 63	△ 52	-
基礎利益	△ 10	△ 53	△ 43	-
(参考)グループ内出再に伴うグループ修正利益調整額	28	25	△ 3	

(億円)	24/3期	25/3期	前期比 [%]
修正利益	△11	△63	△52 [-]

当期純利益(損失)の変動要因



海外保険事業 – 米プロテクティブ

※25/12期1Q(1-3月)決算は、現地時間5/15の公表を予定

- ▶ 営業利益は、リタイアメント事業での運用が好調だった一方、プロテクション事業における死亡率前提の見直しによるマイナス影響や、ステーブルバリューおよびアセットプロテクション事業の収益性低下等により、前期比△7%の464百万米ドル
- ▶ 単体の当期純利益は、23年3月に破綻した銀行の債券等の減損や、商業用不動産ローン貸倒引当金の積増し等により落ち込んだ前期から+235%の389百万米ドルで、修正利益は363百万米ドル

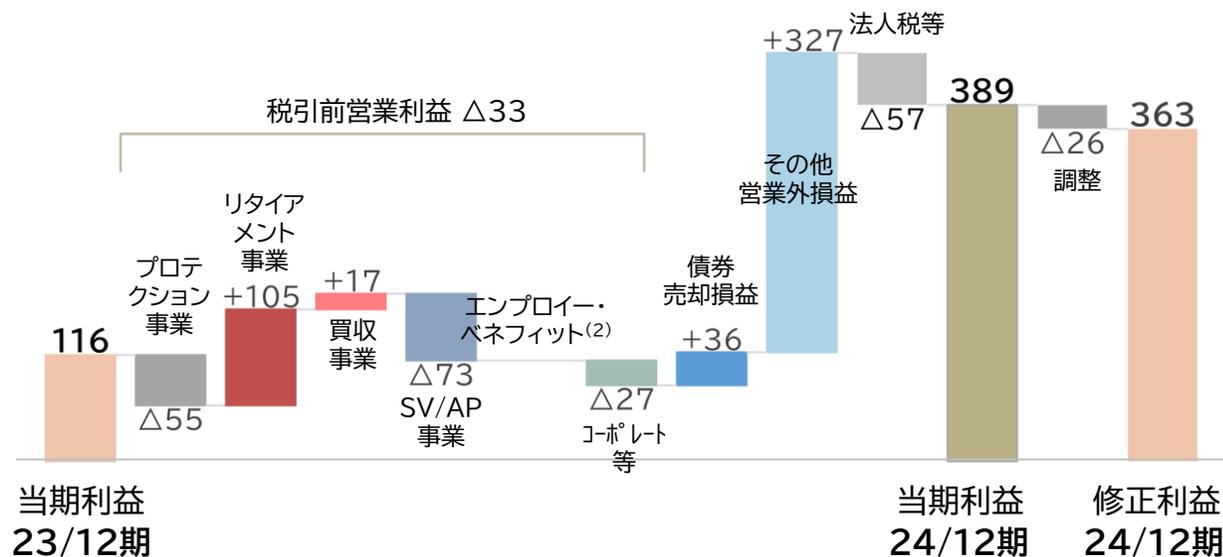
単体業績

(百万米ドル)	23/12期	24/12期	前期比	(%)
保険料等収入	6,160	6,056	△ 104	△ 2%
税引前営業利益⁽¹⁾	497	464	△ 33	△ 7%
プロテクション	28	△ 26	△ 55	-
リタイアメント	117	221	+ 105	+ 90%
買収	358	374	+ 17	+ 5%
ステーブルバリュー(SV)	137	94	△ 43	△ 32%
アセットプロテクション(AP)	51	21	△ 30	△ 58%
エンプロイー・ベネフィット ⁽²⁾	-	△ 0	△ 0	-
コーポレート等	△ 193	△ 220	△ 27	-
営業外損益(償却調整後)	△ 359	4	+ 363	
債券売却損益	△ 92	△ 56	+ 36	
債券評価損・株式評価損益等	△ 198	79	+ 277	
商業用不動産ローン貸倒引当金増減	△ 49	△ 18	+ 30	
修正共同保険式再保険に関する損益	19	△ 18	△ 36	
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△ 152	27	+ 179	
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動	31	31	△ 0	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	81	△ 41	△ 123	
法人税等	△ 22	△ 79	△ 57	
当期純利益(損失)	116	389	+ 273	+ 235%
修正利益への調整	-	△ 26	△ 26	
修正利益⁽³⁾	116	363	+ 247	+ 213%
修正利益 ※円換算後: 億円	165	574	+ 410	+ 249%
決算為替レート(対円)	141.83	158.18	+ 16.35	+ 12%

(億円)	23/12期 ⁽³⁾	24/12期	前期比 ⁽³⁾ [%]	達成率 (対通期予想)
修正利益 ⁽³⁾	165	574	+410 [+249%]	104%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異

(百万米ドル)



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標
 (2) 2024年11月に買収したShelterPoint。24/12期4Q決算から連結開始 (3) 23/12期の修正利益は旧基準。24/12期は新基準

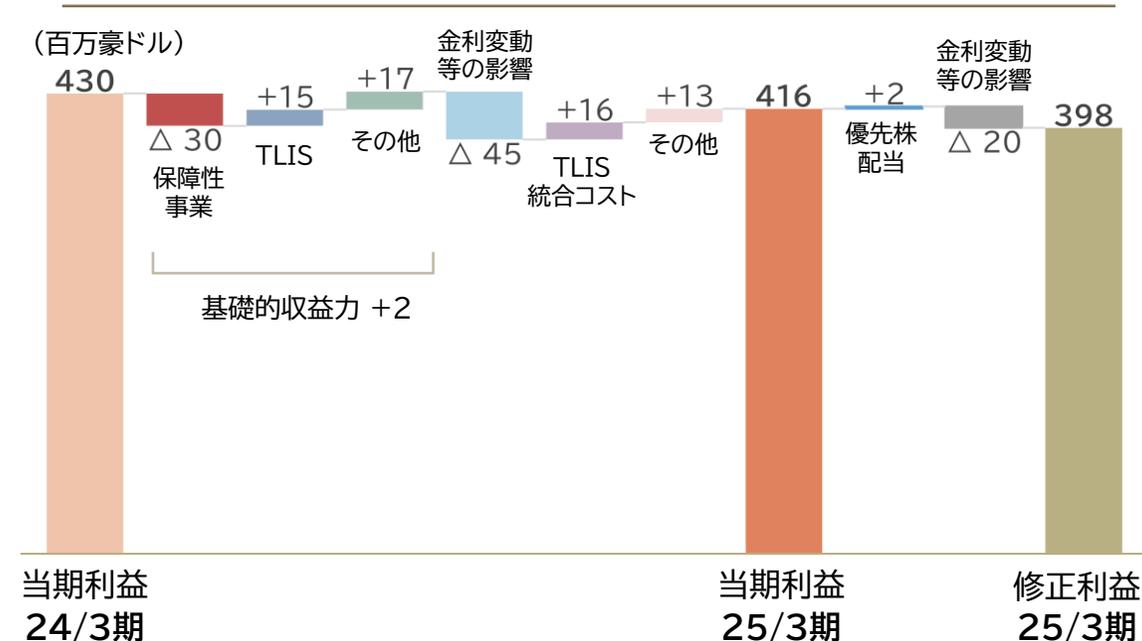
- ▶ 基礎的収益力は、TAL全体で保険金支払いが増加した一方で、TLISは前期を上回り、前期比+1%の455百万豪ドル
- ▶ 金利変動等に伴う資産・保険負債の変動の影響が剥落して、当期純利益は前期比△3%の416百万豪ドル。金利変動等の影響を除外した修正利益では398百万豪ドル

単体業績

	24/3期	25/3期	前期比	(%)
(百万豪ドル)				
保険料等収入	7,878	7,704	△ 175	△ 2%
基礎的収益力(税引後)	453	455	+ 2	+ 1%
保障性事業	331	301	△ 30	△ 9%
TLIS(旧Westpac Life)	174	189	+ 15	+ 9%
その他	△ 52	△ 35	+ 17	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 23	△ 39	△ 16	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	65	20	△ 45	
TLIS統合コスト	△ 36	△ 21	+ 16	
優先株配当等	△ 20	△ 11	+ 10	
その他	△ 31	△ 28	+ 3	
当期純利益(損失)	430	416	△ 14	△ 3%
修正利益への調整	16	△ 18	△ 34	
修正利益⁽¹⁾	446	398	△ 48	△ 11%
修正利益 ※円換算後: 億円	440	374	△ 66	△ 15%
決算為替レート(対円)	98.61	93.97	△ 4.64	△ 5%

(億円)	24/3期 ⁽¹⁾	25/3期	前期比 [%]	達成率 (対通期予想)
修正利益 ⁽¹⁾	440	374	△66 [△15%]	100%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 24/3期の修正利益は旧基準。25/3期より修正利益の基準を変更し、金利変動等の影響を除外

- ▶ 業界全体の銀行窓販チャネルのモメンタム低下により初年度保険料、継続保険料が共に減少し、保険料等収入は前期比△2%の19,208十億越ドン
- ▶ 当期純利益は、金利変動に伴うユニバーサル保険の責任準備金の再評価が前期の繰入れから今期戻入りに転じた一方で、保険料等収入の減少、保険金・解約返戻金等の増加により、前期比△12%の2,126十億越ドン

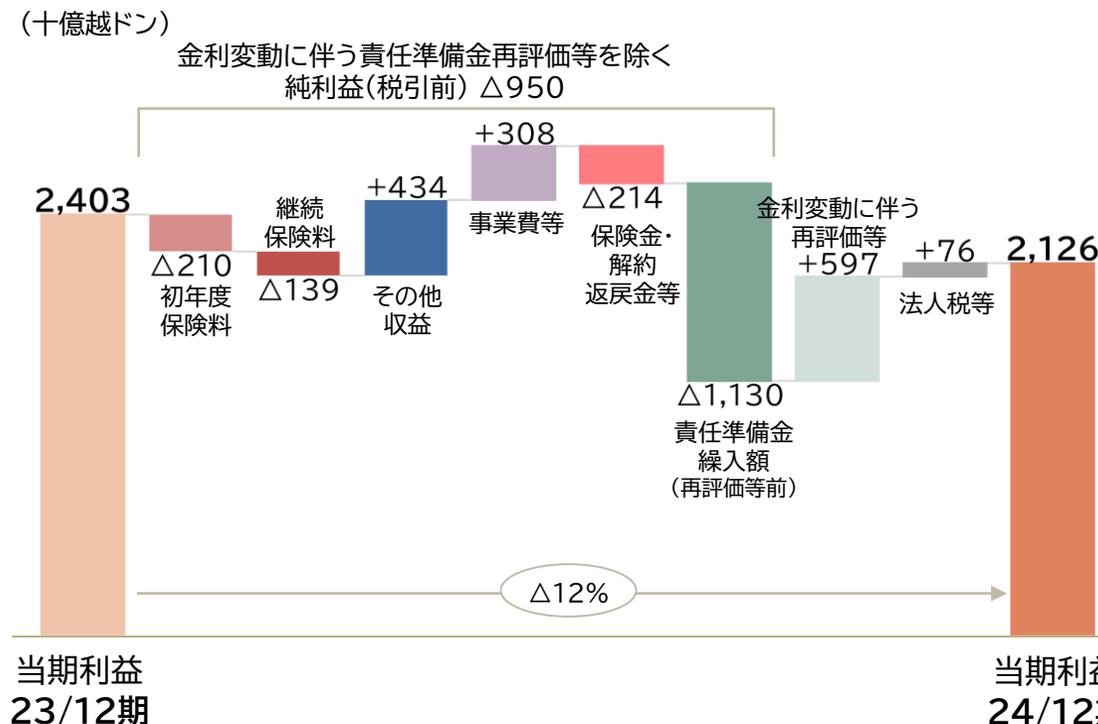
単体業績

(十億越ドン)	23/12期	24/12期	前期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	19,557	19,208	△ 349	△ 2%
初年度保険料	3,864	3,655	△ 210	△ 5%
継続保険料 ⁽¹⁾	15,692	15,553	△ 139	△ 1%
その他収益	2,456	2,890	+ 434	
資産運用収益等	2,995	3,360	+ 365	
再保険収支	△ 539	△ 470	+ 69	
事業費等	△ 7,586	△ 7,277	+ 308	
初年度販売手数料・経費等	△ 5,392	△ 4,996	+ 396	
継続手数料・事務管理費	△ 2,194	△ 2,282	△ 88	
保険金・解約返戻金等	△ 4,540	△ 4,753	△ 214	
責任準備金繰入額等	△ 6,886	△ 7,418	△ 533	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 6,373	△ 7,503	△ 1,130	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	△ 513	85	+ 597	
法人税等	△ 599	△ 523	+ 76	
当期純利益(損失)	2,403	2,126	△ 277	△ 12%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	140	132	△ 8	△ 6%
決算為替レート(対円)	0.0058	0.0062	+ 0.0004	+ 6%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	2,813	1,947	△ 866	△ 31%

(1) 契約より2年目以降の保険料収入

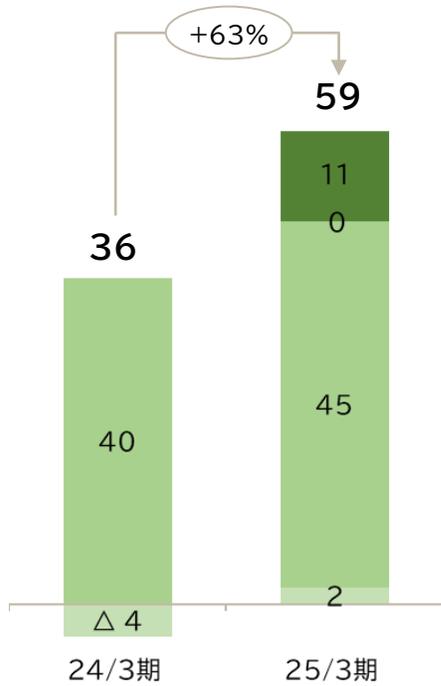
(億円)	23/12期	24/12期	前期比 [%]	達成率 (対通期予想)
修正利益	140	132	△8 [△6%]	106%

当期純利益(損失)の変動要因



- ▶ アセットマネジメント事業の修正利益は、前期比+63%の59億円。米国資産運用会社キャニオン・パートナーズを2024年度3Qより計上
- ▶ ベネフィット・ワンの修正利益は、45億円。大手企業を中心に堅調に会員の獲得が進み、会員数は1,000万人を超過

非保険事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(億円)	24/3期	25/3期	増減(%)
VTX	△ 4	2	-
AMO	40	45	+ 13%
AMO (US)	-	0	-
CP	-	11	-
	36	59	+ 63%

[参考] 預り運用資産(兆円)

	24/3末	25/3末	増減(%)
VTX	2	2	+ 24%
AMO	69	71	+ 3%

	23/12末	24/12末	増減(%)
AMO (US)	-	3	-
CP	-	4	-

※AMO・AMO(US)・CPIは当社の持分法適用関連会社

■ VTX ■ AMO ■ AMO (US) ■ CP

非保険事業(新規事業) 修正利益

(億円)	24/3期	25/3期	増減(%)
BO	-	45	-
	-	45	-



[参考] ベネフィット・ワン会員数(万人)

	24/3末	25/3末	増減(%)
BO	-	1,007	-

(再掲)ベネフィット・ワンのPPAが完了

買収作業におけるPPA(Purchase Price Allocation)完了、のれんおよび無形資産の償却額が確定。
 のれん償却額 (約200億円/年・10年償却)
 無形資産償却額(約30億円/年・24年償却)

グループEV



- ▶ グループEVは、金利上昇により保有契約価値相当額が上昇したものの、株価下落やベネフィット・ワン子会社により発生したのれん等により修正純資産相当額が減少したことで、前期末(新基準)比で約△4%(約△3,500億円)減少の約8兆1,700億円
- ▶ グループ新契約価値は、DLが販売量の回復により前期比で大きく増加した他、海外各社についても、PLCで経営者保険の販売が好調だったことにより増加。グループ全体では、前期比(新基準)約+62%増加の1,724億円(概算値)

第一生命グループ⁽¹⁾

(億円)	24/3末	25/3末	増減
第一生命グループEV	約85,100	約81,700	約△3,500
修正純資産相当額	約36,700	約17,900	約△18,800
保有契約価値相当額	約48,400	約63,800	約+15,400

(億円)	24/3期	25/3期	増減
グループ新契約価値	1,068	1,724	+656
新契約マージン	1.69%	2.71%	+1.02%pt



グループ各社(国内)のEV(新基準) (1)

(億円)

第一生命	24/3末	25/3末	増減
EV	61,145	約57,000	約△4,100
修正純資産相当額	35,654	約19,000	約△16,700
保有契約価値相当額	25,491	約38,100	約+12,600

	24/3期	25/3期	増減
新契約価値	△ 55	542	+ 597
新契約マージン	△ 0.47%	3.44%	+ 3.90%pt

(参考)	うち個人保険	△ 28	674	+701
	うち団体保険・団体年金	227	172	△ 54
	うちMOCE	△ 263	△ 309	△ 46

第一フロンティア生命	24/3末	25/3末	増減
EV	8,041	約8,900	約+ 800
修正純資産相当額	1,763	約2,400	約+ 700
保有契約価値相当額	6,278	約6,400	約+ 200

	24/3期	25/3期	増減
新契約価値	472	396	△76
新契約マージン	1.66%	1.76%	+ 0.09%pt

ネオファースト生命	24/3末	25/3末	増減
EV	1,515	約1,700	約+ 200
修正純資産相当額	303	約200	約△100
保有契約価値相当額	1,212	約1,500	約+ 300

	24/3期	25/3期	増減
新契約価値	40	48	+ 7
新契約マージン	2.86%	3.52%	+ 0.67%pt

(1) 25/3末・25/3期の数値については概算値

グループEV (3)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業

Dai-ichi Life Holdings

グループ各社(海外)のEV (新基準) (1)

米プロテクティブ	23/12末	24/12末	増減
EV	約6,000	約8,600	約+2,600
修正純資産	約△ 2,200	約△ 2,400	約△200
保有契約価値	約8,300	約11,100	約+2,800
※為替レート(円/米ドル)	141.83	158.18	

豪TAL	24/3末	25/3末	増減
EV	約6,100	約6,300	約+200
修正純資産	約900	約1,800	約+800
保有契約価値	約5,100	約4,500	約△700
※為替レート(円/豪ドル)	98.61	93.97	

第一生命ベトナム	23/12末	24/12末	増減
EV	約2,200	約2,500	約+300
修正純資産	約1,200	約1,300	約+100
保有契約価値	約1,000	約1,300	約+200
※為替レート(円/越ドン)	0.0058	0.0062	

	23/12期	24/12期	増減
新契約価値	343	418	+75
新契約マージン	1.93%	2.07%	+0.13%pt
※為替レート(円/米ドル)	141.83	158.18	

	24/3期	25/3期	増減
新契約価値	71	97	+25
新契約マージン	3.19%	6.15%	+2.95%pt
※為替レート(円/豪ドル)	98.61	93.97	

	23/12期	24/12期	増減
新契約価値	175	200	+25
新契約マージン	13.06%	13.64%	+0.57%pt
※為替レート(円/越ドン)	0.0058	0.0062	

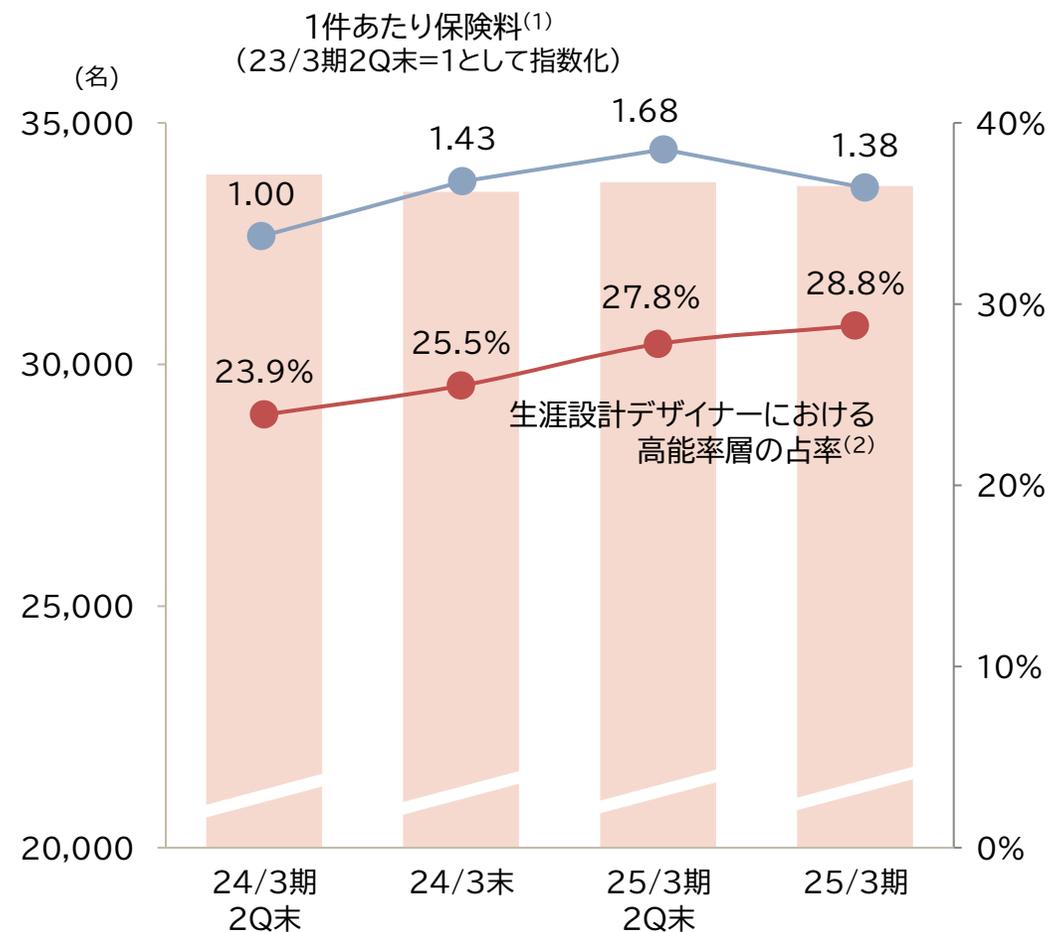
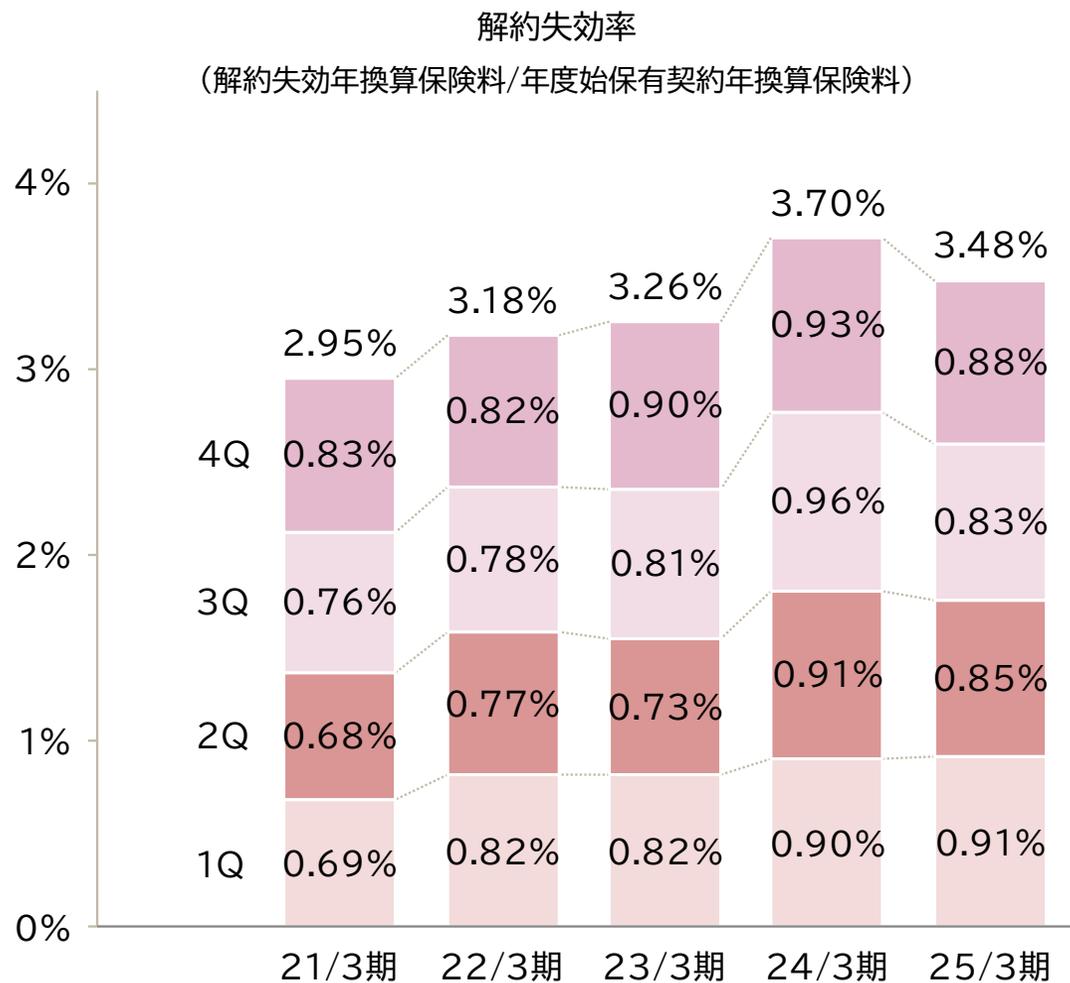
(1)グループ各社(海外)のEVについては概算値

参考データ

【第一生命】 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



(1) 代理店チャネル除く
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合

■ [参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

[第一生命] 資産運用の状況① – 資産運用収益・費用の内訳

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

利息・配当金等収入⁽¹⁾の内訳

(億円)	24/3期	25/3期	前期比	(%)
利息・配当金等収入	7,201	7,703	+ 502	+ 7%
公社債	2,660	2,847	+ 187	+ 7%
株式	762	823	+ 61	+ 8%
外国債券	1,373	991	△ 381	△ 28%
外国株式	786	1,035	+ 249	+ 32%
その他の証券	258	533	+ 275	+ 107%
貸付金	557	681	+ 124	+ 22%
不動産 ⁽³⁾	687	682	△ 5	△ 1%

[参考] 25/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽²⁾
一般勘定計	7,703	315,279	2.44%
公社債	2,847	180,925	1.57%
株式	823	11,528	7.14%
外国債券	991	31,227	3.17%
外国株式	1,035	13,161	7.86%
その他の証券	533	12,119	4.40%
貸付金	681	31,778	2.14%
不動産 ⁽³⁾	682	8,955	7.62%

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	24/3期	25/3期	前期比	(%)
有価証券売却益	4,185	5,519	+ 1,333	+ 32%
公社債	394	112	△ 282	△ 72%
株式	2,186	4,186	+ 2,001	+ 92%
外国債券	811	195	△ 616	△ 76%
外国株式	772	1,016	+ 244	+ 32%
その他	23	9	△ 14	△ 60%
有価証券売却損	2,720	3,753	+ 1,033	+ 38%
公社債	502	2,460	+ 1,958	+ 390%
株式	57	51	△ 7	△ 12%
外国債券	1,332	928	△ 404	△ 30%
外国株式	369	221	△ 148	△ 40%
その他	459	93	△ 367	△ 80%
有価証券売却損益	1,466	1,766	+ 300	+ 20%
有価証券評価損	32	48	+ 16	+ 49%
公社債	-	-	-	-
株式	24	21	△ 3	△ 14%
外国債券	-	-	-	-
外国株式	7	10	+ 3	+ 42%
その他	1	17	+16	+ 2,416%

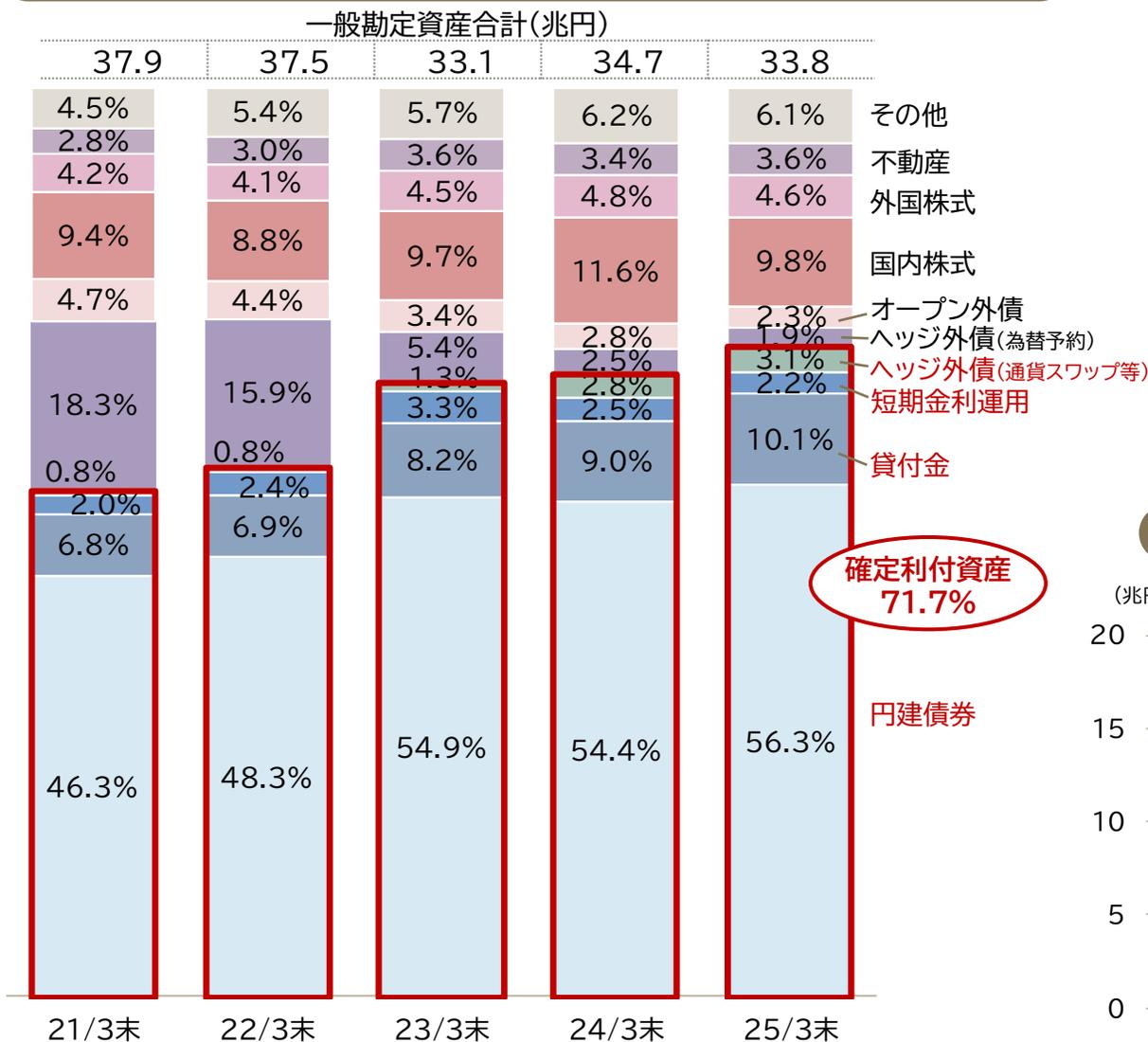
(1) 投信解約損益を含む

(2) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算

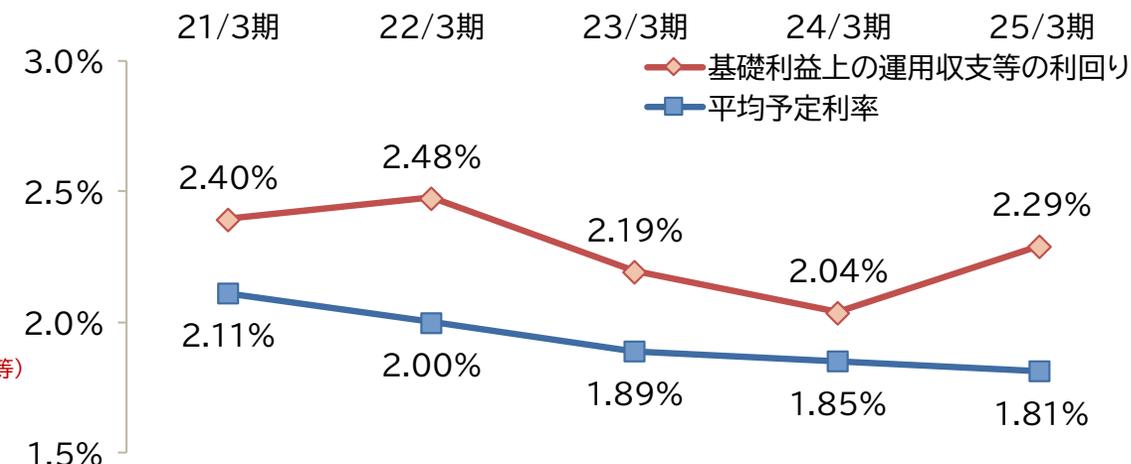
(3) 投資用不動産

[第一生命] 資産運用の状況② – 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

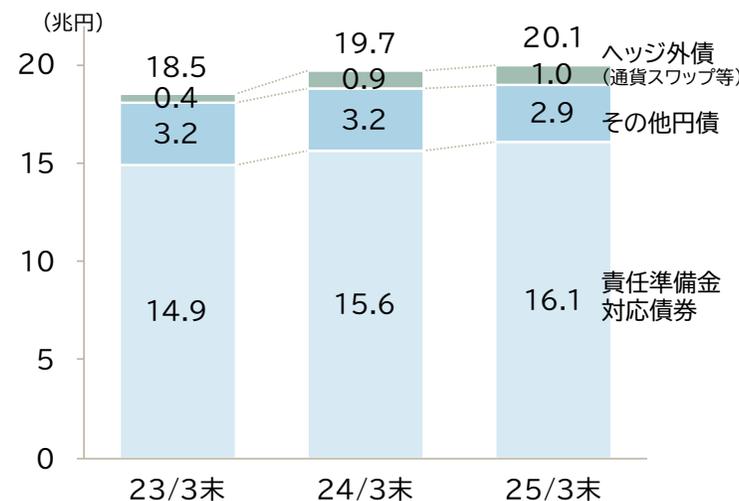
運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾⁽²⁾



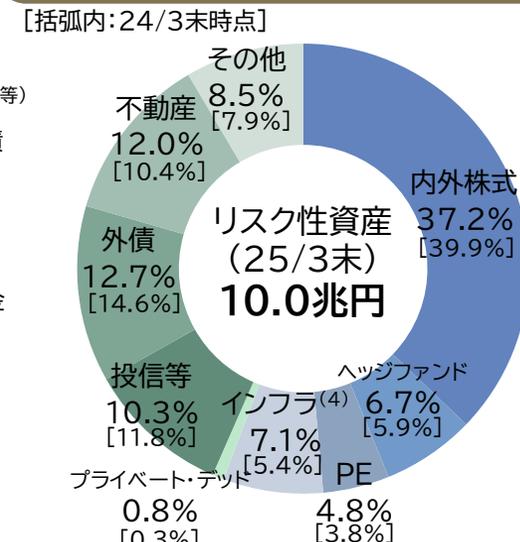
資産運用利回りと平均予定利率



確定利付資産における債券積増し状況⁽²⁾⁽³⁾



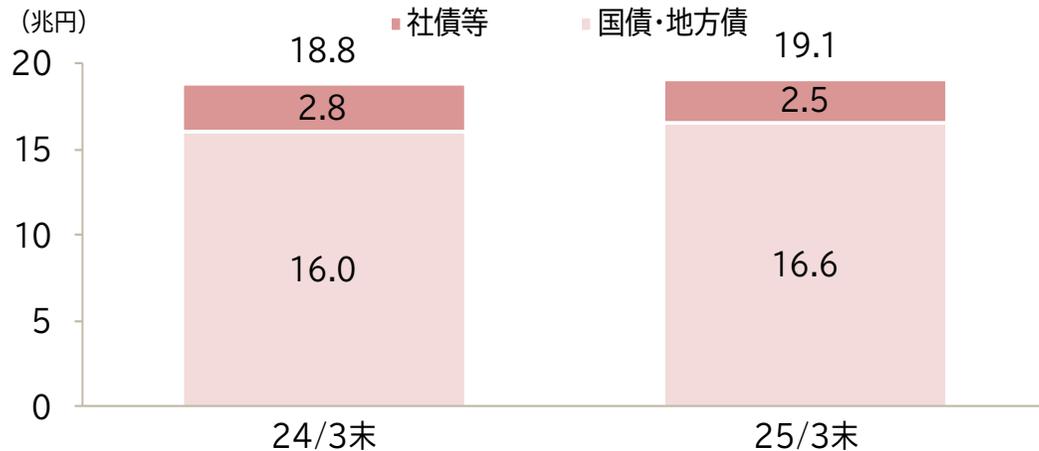
リスク性資産等の内訳⁽¹⁾



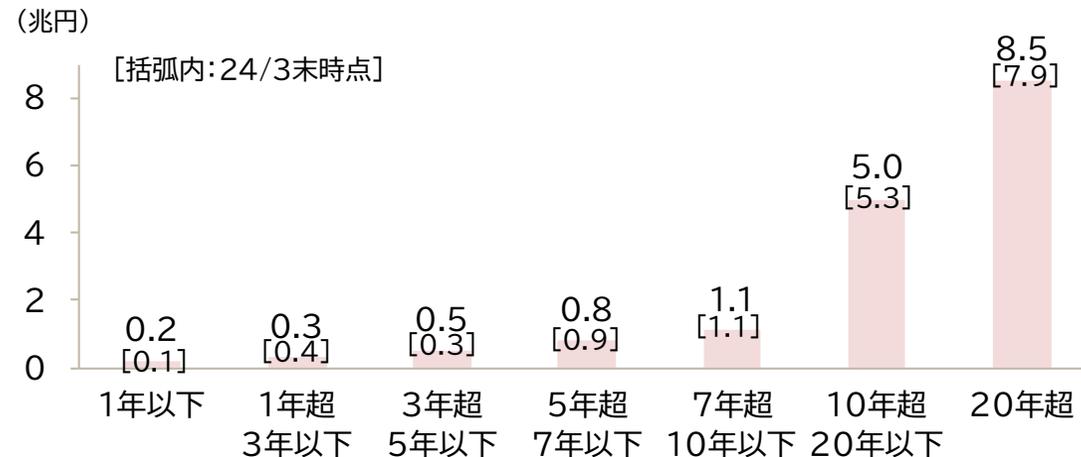
(1) 貸借対照表価額ベース (2) ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類 (3) 簿価ベース (4) 不動産ファンドを含む

【第一生命】資産運用の状況③ – 円建・外貨建債券の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾

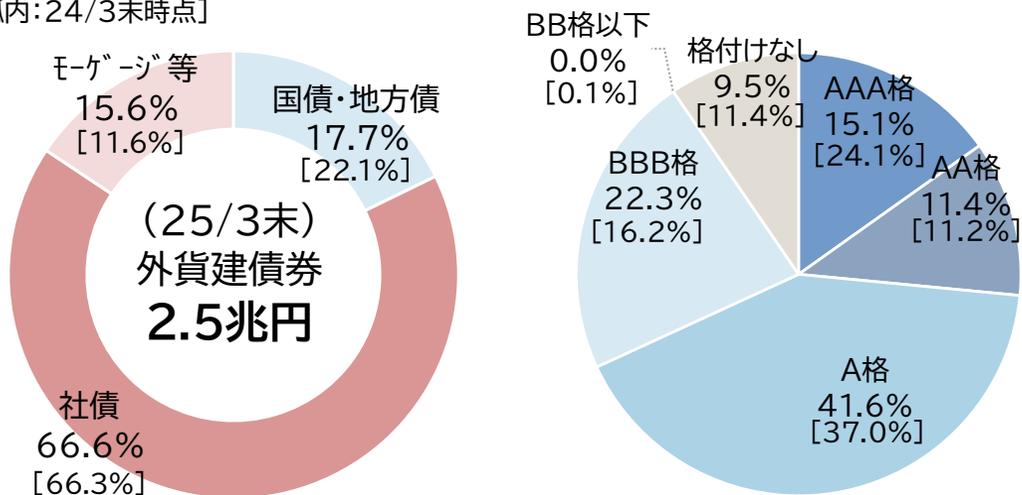


国債の残存期間別残高⁽²⁾ (25/3末)

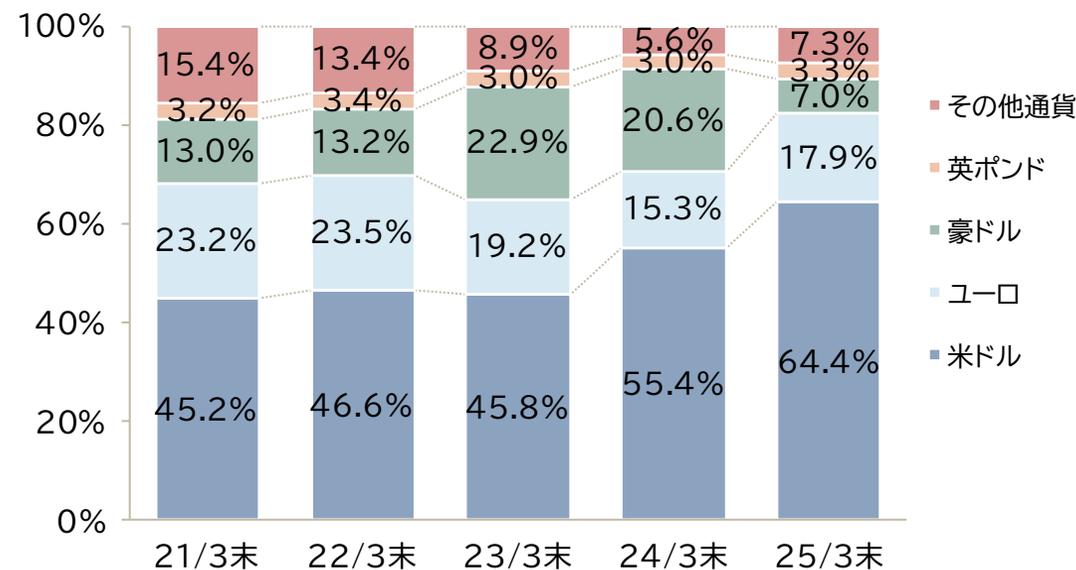


外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (25/3末)

[括弧内: 24/3末時点]



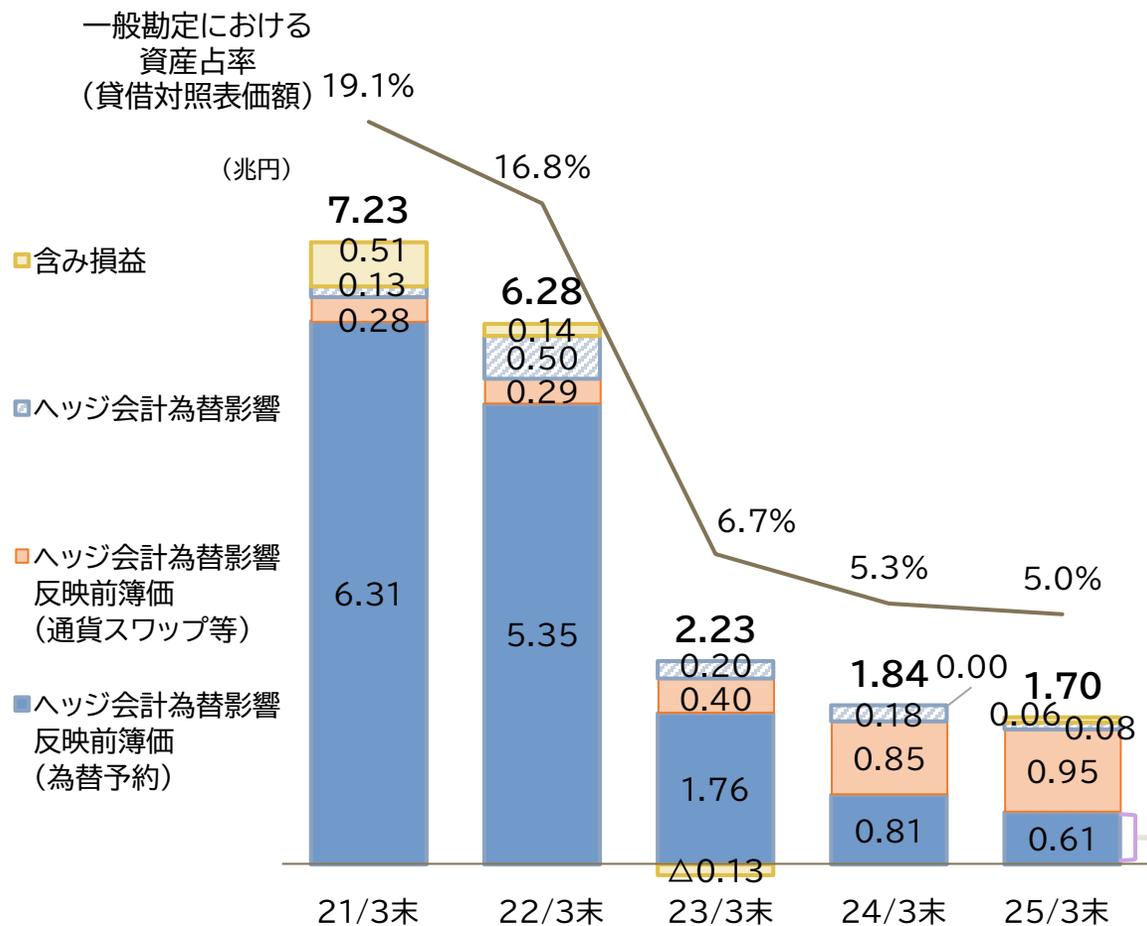
外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
 (2) 貸借対照表価額ベース
 (3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

[第一生命] 資産運用の状況④ – 為替ヘッジ付外貨建債券の状況

為替ヘッジ付外債残高詳細(貸借対照表価額)⁽¹⁾



為替ヘッジ付外債 損益状況

	24/3期	25/3期	(参考) オープン外債 ⁽²⁾
(億円)			
利息・配当金等収入	601	476	417
為替に係るヘッジコスト	△ 650	△ 395	-
有価証券売却損益	△ 685	△ 711	95
貸借対照表価額	18,440	16,950	7,813
会計上の簿価	18,402	16,365	7,410
含み損益	38	585	403
(参考) ヘッジ会計為替影響反映前簿価	32,634	15,593	

- 2024年度より、リスク性資産に区分
- 適切なリスクコントロールの上、機動的に残高を調整

(1)ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類 (2)外国公社債投資信託を含む

【第一生命】健全性指標 – 含み損益とソルベンシー・マージン比率

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業

Dai-ichi Life Holdings

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	24/3末	25/3末	前期末比	(%)
有価証券	27,889	5,510	△ 22,380	△ 80%
国内債券	△ 4,777	△ 20,452	△ 15,675	-
外国債券	527	673	+ 146	+ 28%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	38	585	+ 547	+ 1,443%
国内株式	28,441	22,402	△ 6,039	△ 21%
外国株式	3,299	2,357	△ 941	△ 29%
不動産	5,561	6,357	+ 796	+ 14%
一般勘定資産合計	32,131	10,217	△ 21,914	△ 68%

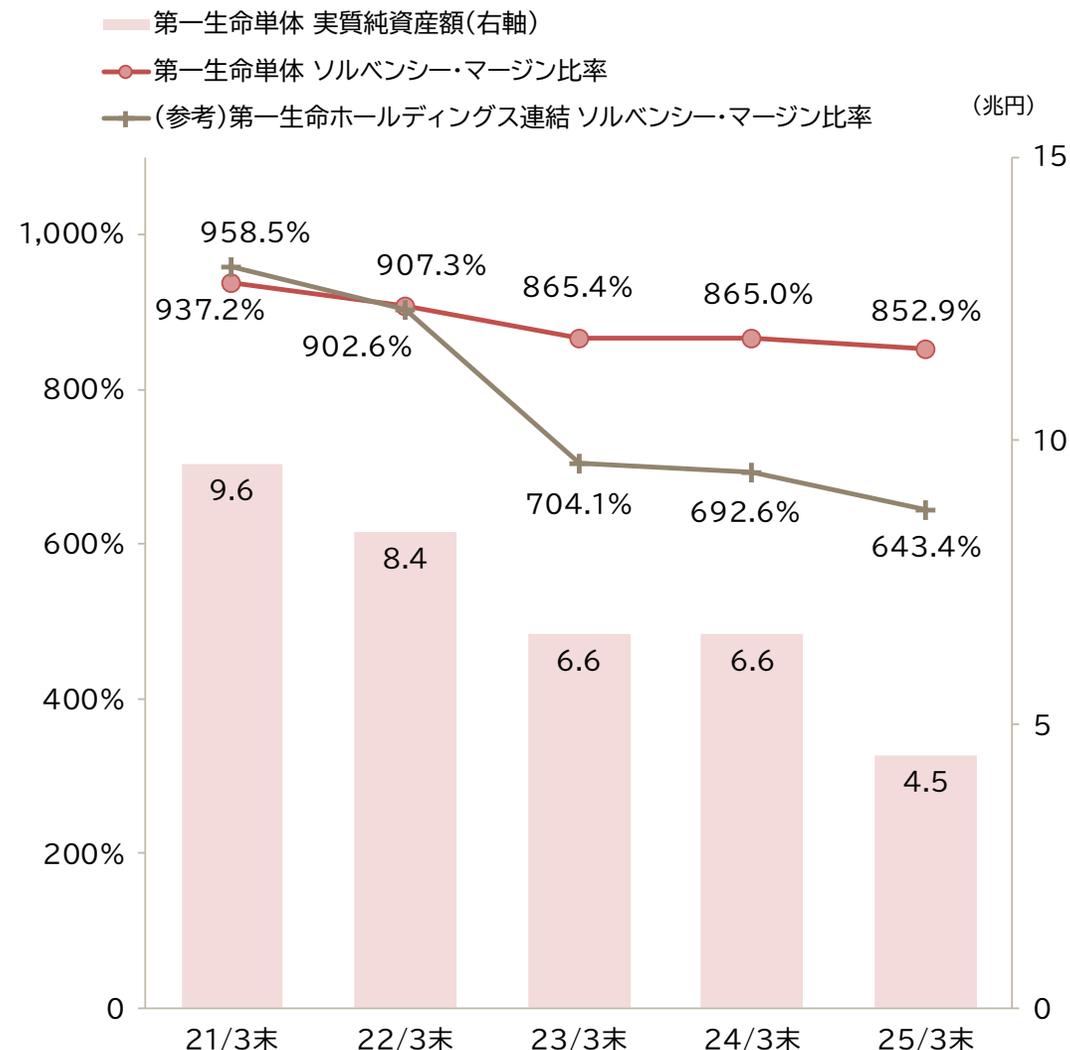
2025年
3月末時点

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 2,400億円の増減※ (2024年3月末:2,700億円)	10年国債利回り 0.7%※ (2024年3月末:0.6%)
	※その他有価証券区分:100億円の増減 (2024年3月末:100億円)	※その他有価証券区分:1.5% (2024年3月末:1.3%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 900億円の増減 (2024年3月末:900億円)	日経平均株価 ¥11,200 (2024年3月末:¥11,500)
外国証券	ドル/円1円の変動で 130億円の増減 (2024年3月末:150億円)	ドル/円 \$1 = ¥132 (2024年3月末:¥128)

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

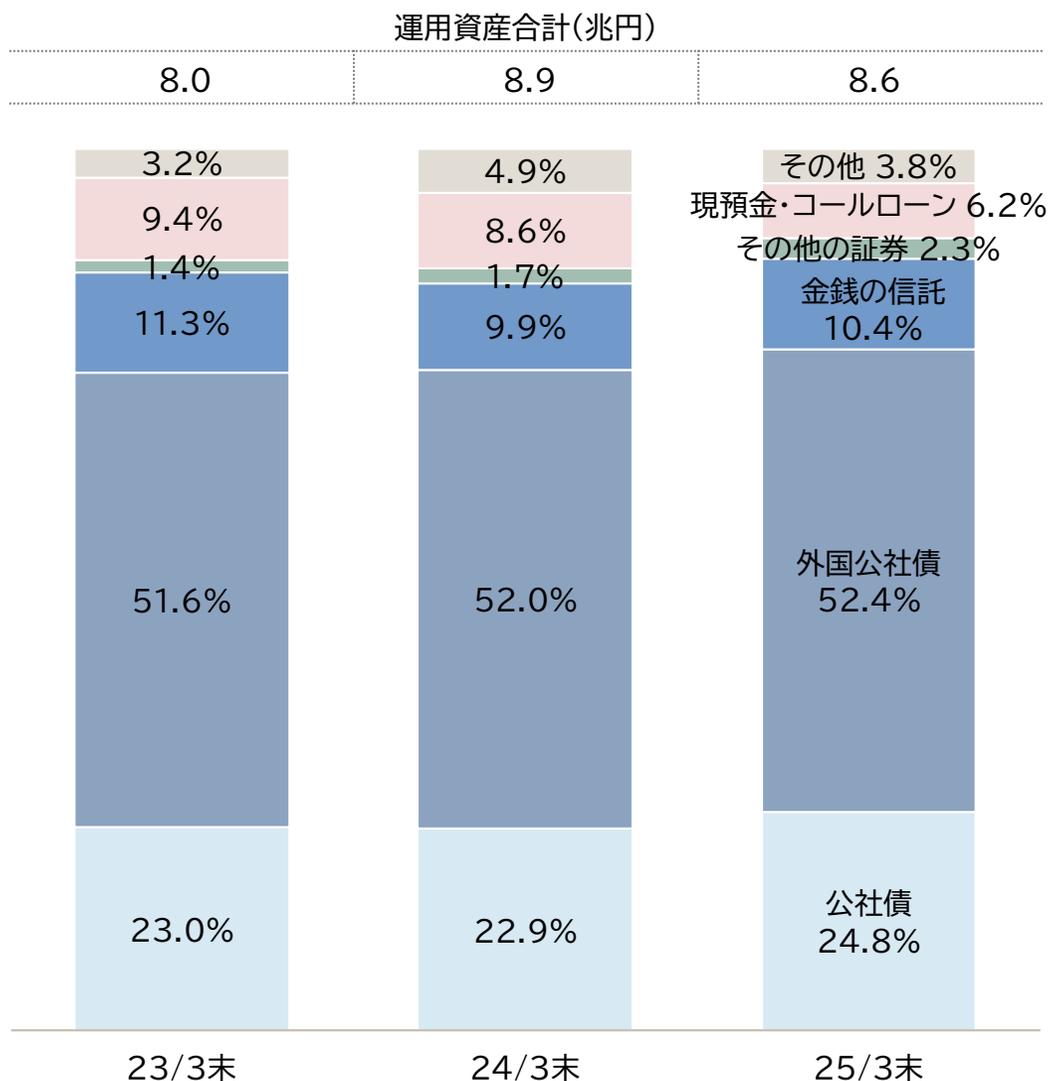


(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

【第一フロンティア生命】資産運用の状況 - 運用資産構成

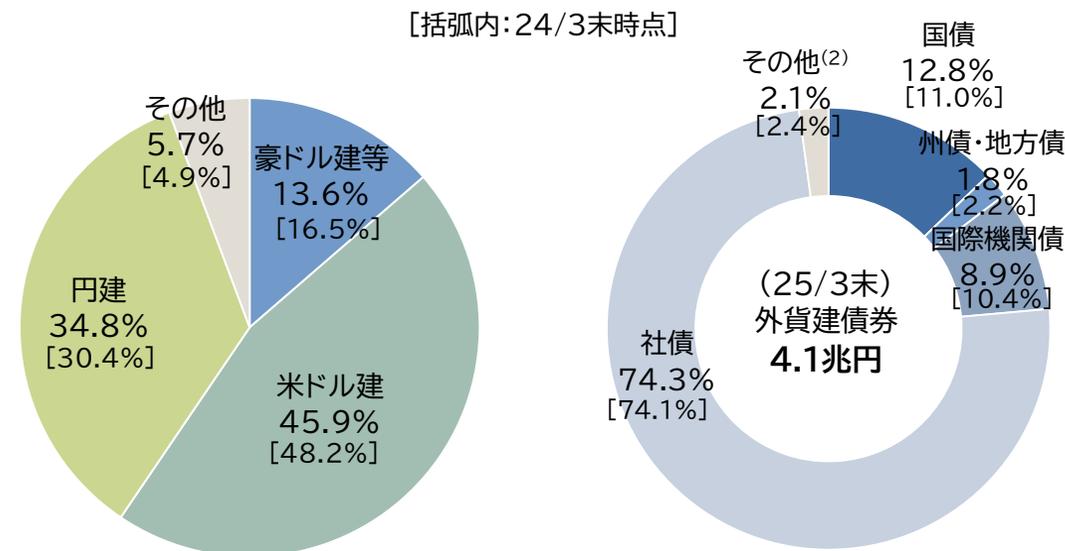
運用資産の構成(一般勘定) (1)



保有目的区分別有価証券の状況 (25/3末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	45,628	42,488	△ 3,139
その他有価証券	25,731	25,294	△ 437
公社債	5,302	5,160	△ 142
外国証券	16,006	15,730	△ 277
その他の証券	2,028	2,019	△ 10

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

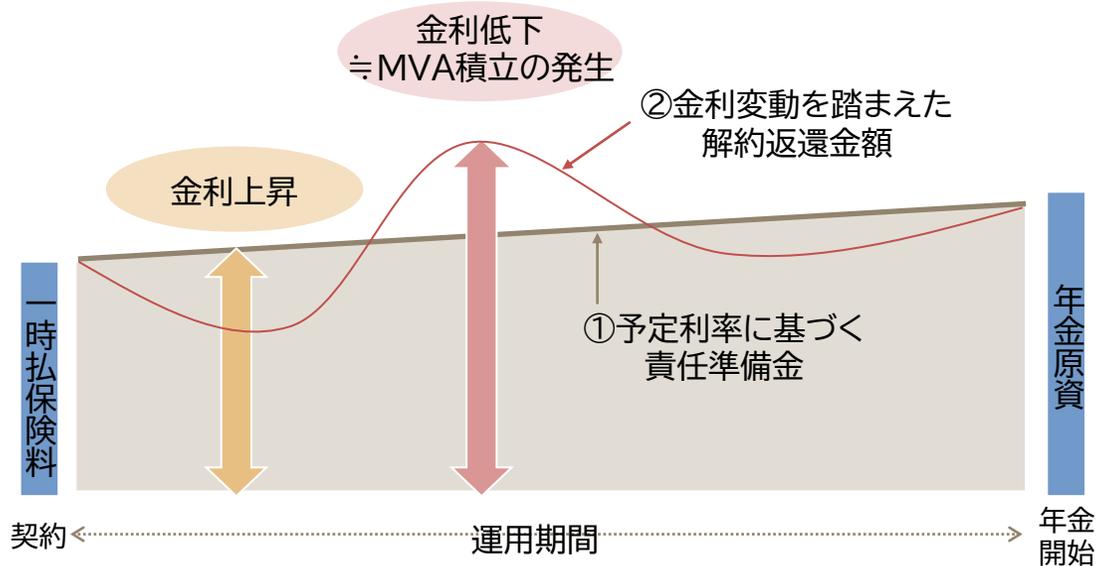


(1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含む

MVA(市場価格調整)関連損益について

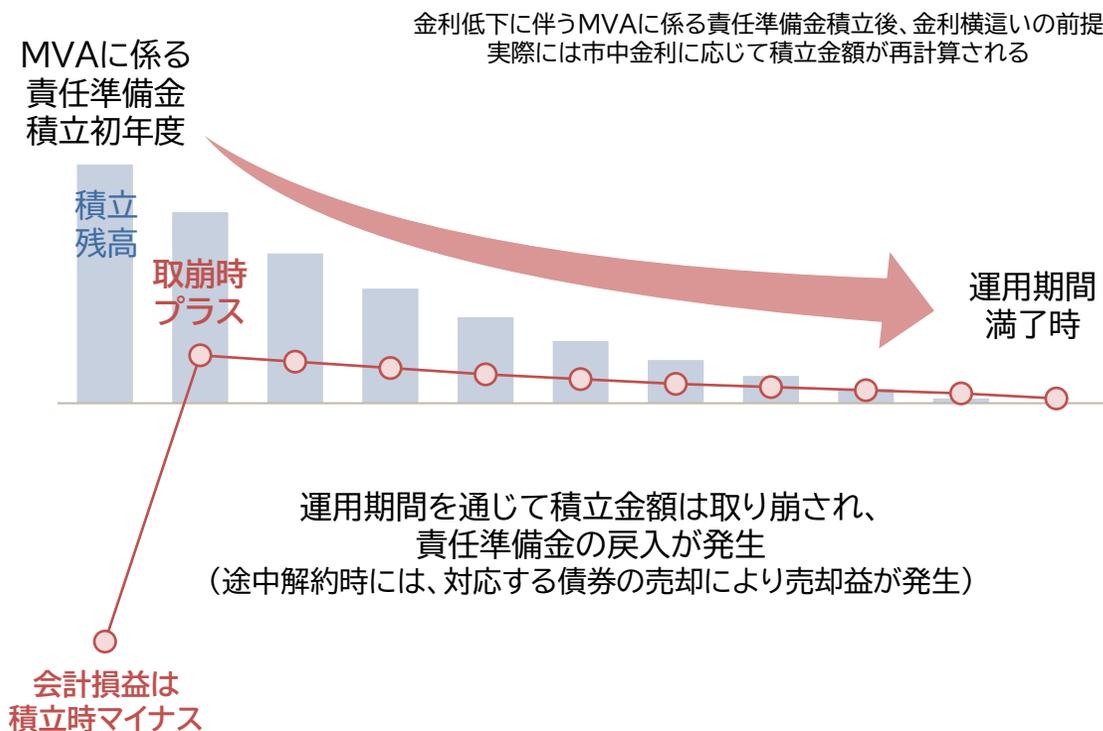
- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により②>①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



金利低下に伴うMVAに係る責任準備金積立後、金利横這いの前提
実際には市中金利に応じて積立金額が再計算される

運用期間を通じて積立金額は取り崩され、
責任準備金の戻入が発生
(途中解約時には、対応する債券の売却により売却益が発生)

[海外保険事業] 修正利益、米プロテクティブ・豪TALのセグメント別営業業績等

グループ連結

海外保険事業

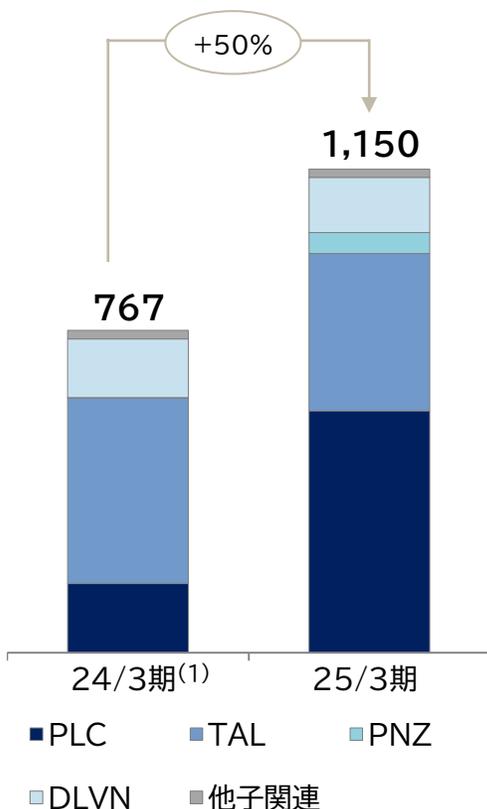
国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

海外保険事業 修正利益合計



(億円)	24/3期 ⁽¹⁾	25/3期	増減(%)
PLC ⁽²⁾	165	574	+ 249%
TAL	440	374	△ 15%
PNZ	1	50	+ 3,270%
DLVN ⁽²⁾	140	132	△ 6%
他子関連 ⁽²⁾	20	20	△ 2%
合計	767	1,150	+ 50%

※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・PDL・OLIの5社

米プロテクティブ 営業業績等

(百万米ドル)	23/12期	24/12期	前期比	(%)
リテール保険&年金事業	4,895	8,948	+ 4,054	+ 83%
伝統的保険	238	234	△ 3	△ 1%
ユニバーサル保険	112	120	+ 8	+ 7%
BOLI/COLI ⁽³⁾	1,666	3,013	+ 1,347	+ 81%
定額年金	2,117	4,277	+ 2,160	+ 102%
変額年金	761	1,304	+ 542	+ 71%
アセットプロテクション事業	985	890	△ 95	△ 10%
ステーブルバリュー-残高(年度始)⁽⁴⁾	10,007	12,410	+ 2,403	+ 24%
調達	6,984	4,102	△ 2,882	
償還	△ 4,967	△ 3,848	1,119	
その他	386	485	+ 99	
残高(4Q末)	12,410	13,150	+ 739	+ 6%

豪TAL 営業業績

(百万豪ドル)	24/3期	25/3期	前期比	(%)
新契約年換算保険料	138	535	+ 396	+ 286%
(TAL) 個人保険	73	86	+ 14	+ 19%
団体保険	63	445	+ 381	+ 602%
TLIS (旧Westpac Life)	2	3	+ 1	+ 59%
既契約増減⁽⁵⁾	370	39	△ 331	△ 89%
(TAL) 個人保険	358	250	△ 108	△ 30%
団体保険	△ 107	△ 351	△ 243	-
TLIS (旧Westpac Life)	119	139	+ 20	+ 17%

(1) PLC・TAL・PNZの24/3期の修正利益は旧基準

(2) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社

(3) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を役員・従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険

(4) 当期より、ステーブルバリューは営業業績から残高の表示に変更

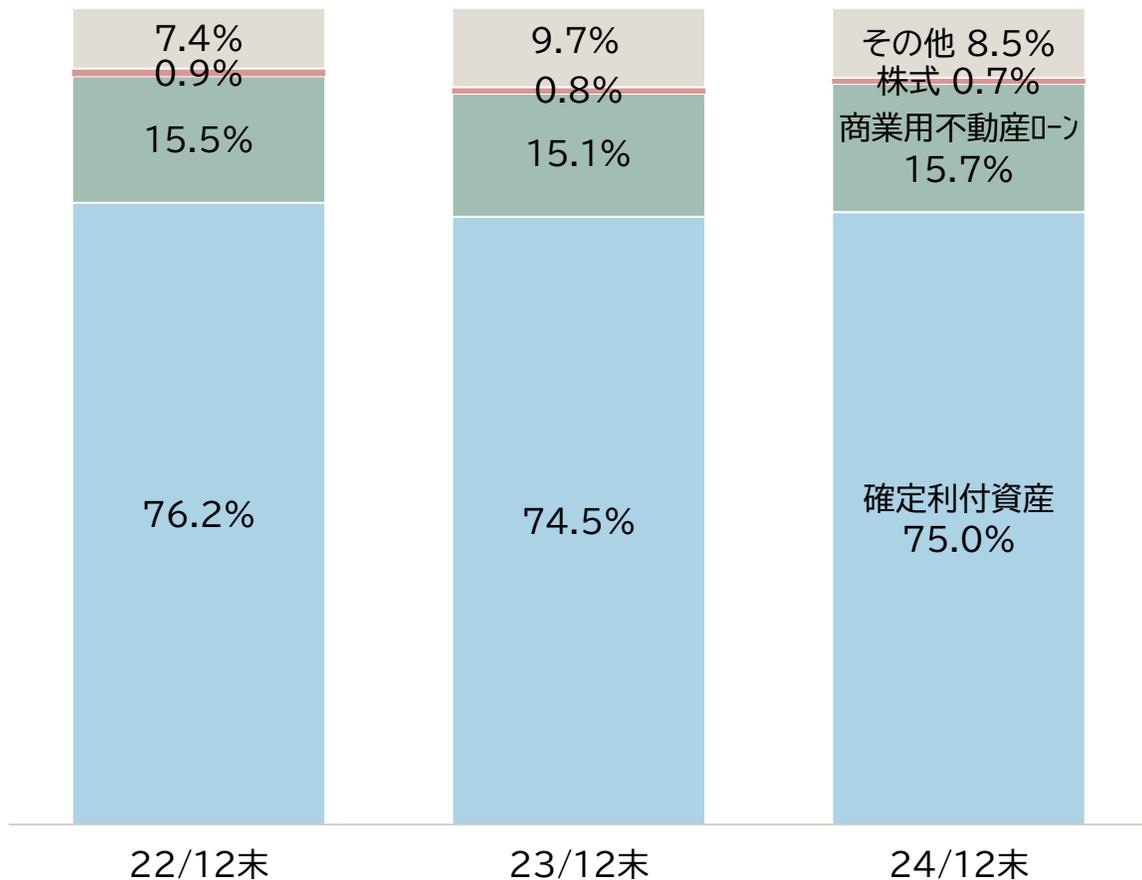
(5) 既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 – 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) (1)

運用資産合計(十億米ドル)

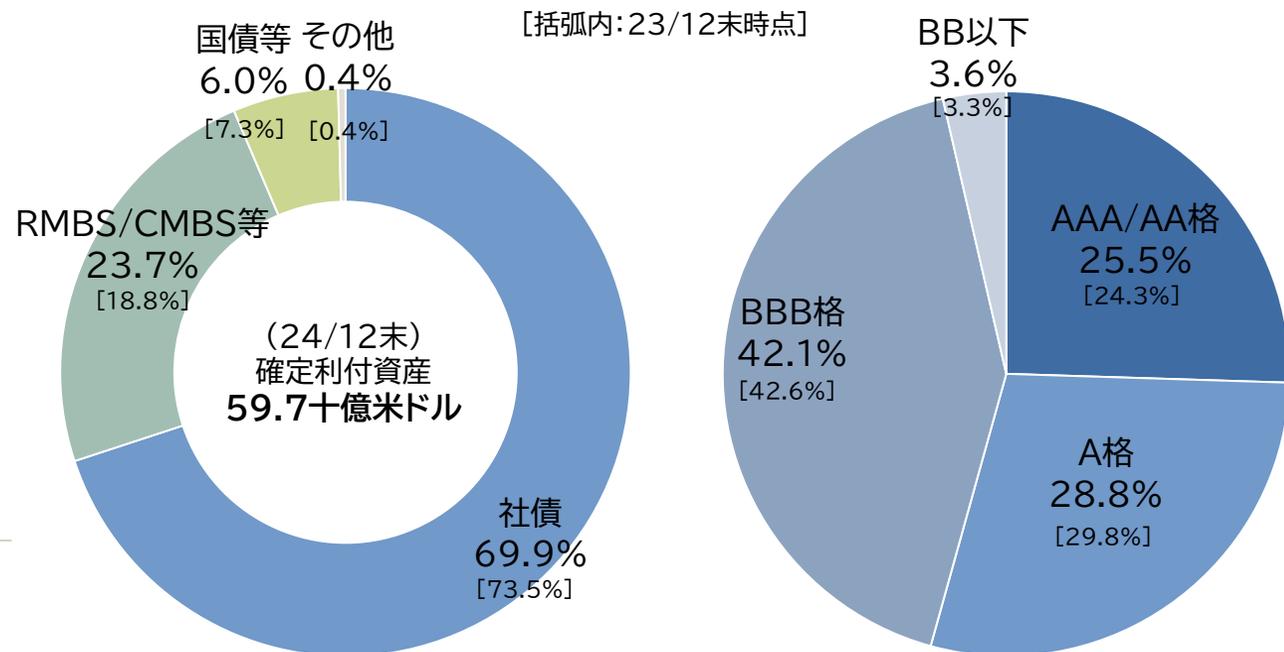
75.5	78.8	79.6
------	------	------



商業用不動産ローンの状況

(百万米ドル)	23/12末	24/12末	増減
商業用不動産ローン(引当額)	11,998	12,611	+ 613
不良債権	72	55	△ 17
貸倒引当金	122	101	△ 21
(対ローン残高)	1.0%	0.8%	△ 0.2%pt

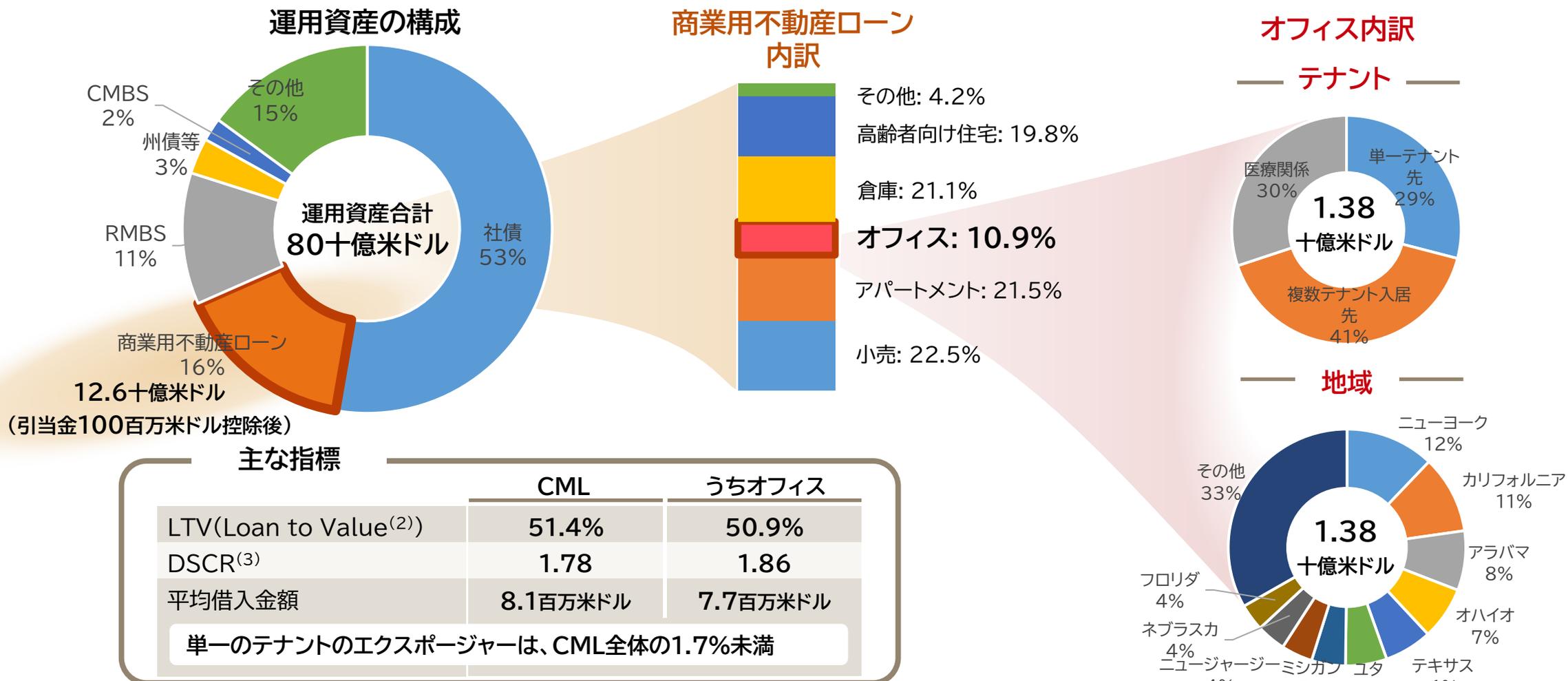
確定利付資産の内訳および格付構成 (24/12末)



(1) 貸借対照表価額ベース

[参考] [米プロテクティブ] 商業用不動産ローンの状況 (2025年3月時点)

- ▶ PLCにおける商業用不動産ローン(CML)への投資において、オフィスの占率は相対的に低い状況で、テナント種別や地域の分散を効かせることで、リスク分散を図っている(PLCのオフィス占率は10.9%である一方、同業他社⁽¹⁾は平均20%)
- ▶ オフィス区分における今後3年間の償還予定の残高は32%程度



(1)出所: Fitch report on US Life Insurers Commercial Mortgages, May 15, 2024
 (2)総資産有利子負債比率:不動産評価額に対する借入金割合 (3) Debt Service Coverage Ratio: キャッシュフロー対比での元金返済額の倍率

グループ修正利益の組替え

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

(億円)	24/3期	25/3期 ⁽¹⁾	前期比	(%)
当期純利益(損失)	3,208	4,296	+ 1,088	+ 34%
危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	△ 18	△ 13	+ 5	
のれん等償却額	114	305	+ 191	
経済実態と乖離した評価性損益等(PLC)	-	△ 41	-	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動等(TAL)	-	△ 17	-	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動(PNZ)	-	9	-	
資産負債評価に係る調整(DLRe)	△ 181	△ 152	+ 29	
その他	71	206	+ 135	
修正利益	3,194	4,395	+ 1,201	+ 38%

PLCの調整項目	(億円)
債券評価損・株式評価損益等	△58
商業用不動産ローン貸倒引当金増減	+8
修正共同保険式再保険に関する損益	+28
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△36
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動	△49
営業外損益に係るDAC等償却の変動	+65
上記に係る税	+2
調整額	△41

(1) PLC・TAL・PNZは25/3期より修正利益の基準を変更

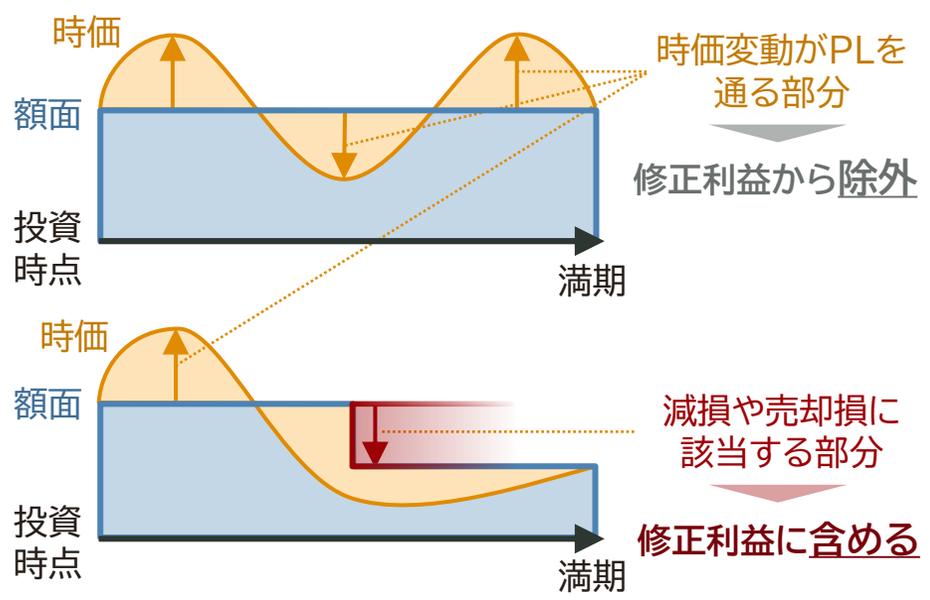


[参考] 修正利益の算出方法の一部変更

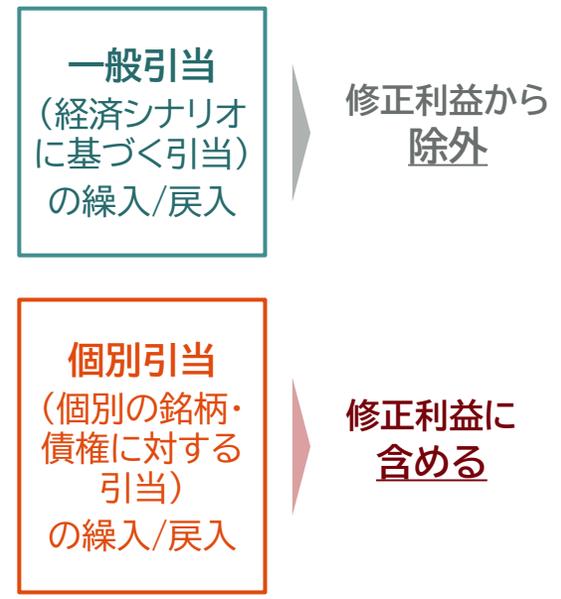
- ▶ プロテクティブ、TAL、パートナーズ・ライフの修正利益について、2024年度より会計上の評価損益を修正利益から除くことで、修正利益本来の目的に沿うとともに利益の安定性や還元の予見性の向上につながる
- ▶ なお、配当計算のベースとなる3年間の修正利益について、2023年度以前の分の遡及修正は行わない

プロテクティブのケース

運用やヘッジに係る損益のイメージ

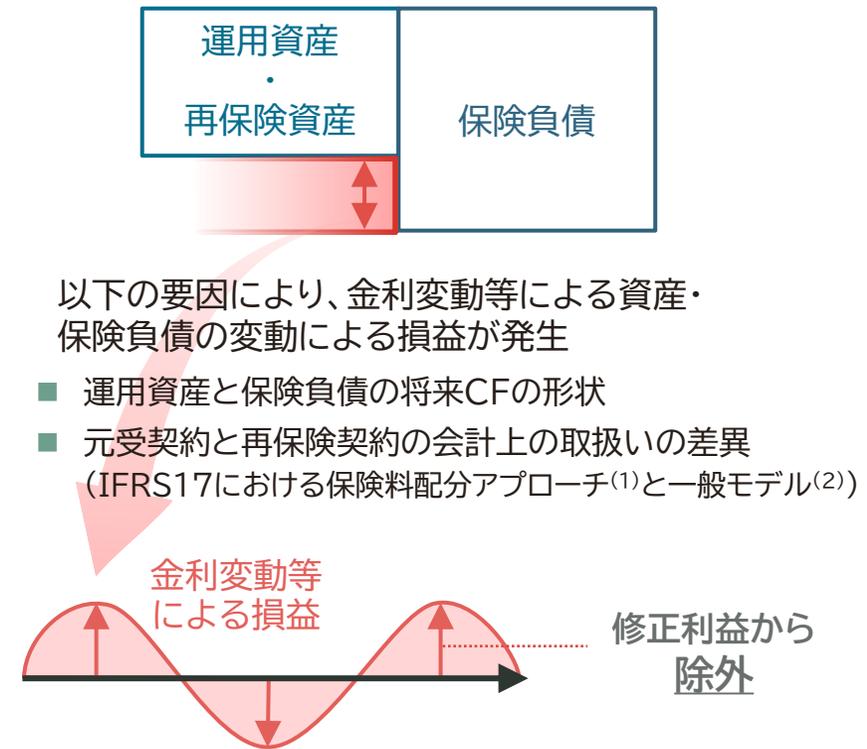


予想信用損失(CECL)



TAL、パートナーズ・ライフのケース

金利変動等に伴う資産・保険負債の変動



時価変動部分が修正利益から除外される対象項目

優先株評価損益、修正共同保険式再保険 (Modco) 関連損益、ICOLI損益、最低保証関連損益(ヘッジ対象とヘッジ手段の双方)、それらに伴うDAC償却の変動等

(1) Premium Allocation Approach (2) General Measurement Model

【参考】修正ROE定義および過去実績

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
 第一フロンティア生命・プロテクティブ: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	21/3期	22/3期	23/3期 ⁽²⁾	24/3期	25/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.9%	8.0%	4.9%	8.2%	10.7%
分子(修正利益)	2,828	2,961	1,706	3,194	4,395
分母(年度始・年度末平均)	31,724	37,146	34,518	38,871	41,169
分母(年度末)	36,848	37,445	33,572	44,170	38,844
[分母算出]					
純資産	48,062	44,078	26,613	38,819	34,694
(-) のれん	427	562	1,172	1,152	3,284
(-) 確定利付資産含み損益	12,006	6,287	△ 8,123	△ 6,489	△ 7,426
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	1,219	216	9	14	8
修正ROE用純資産	36,848	37,445	33,572	44,170	38,844
うち株主資本	18,936	19,963	17,538	18,721	20,146
第一生命 修正ROE	8.4%	8.2%	7.3%	8.2%	11.3%
分子(修正利益)	1,745	1,998	1,656	2,039	2,871
分母(年度始・年度末平均)	20,772	24,506	22,642	24,972	25,478
分母(年度末)	25,044	23,968	21,315	28,628	23,003
[分母算出]					
純資産	31,903	27,570	21,000	28,980	23,468
(-) 確定利付資産含み損益	6,859	3,602	△ 315	352	465
修正ROE用純資産	25,044	23,968	21,315	28,628	23,003
うち株主資本	6,792	6,316	5,837	5,526	5,812

グループ修正利益の定義



【調整①】 [危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額 等]
 (法定超過分、税後)
 加えて海外子会社・関連会社の内部留保があれば状況に応じて調整

【調整②】 [MVA (市場価格調整)関連損益(税後) 等]
 実質的でない会計上の評価損益を調整

【調整③】 [のれん償却、段階取得損益、持分変動損益 等]
 各社連結手続き上の組織再編関連損益やのれん償却等を調整

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益と定義
 (2) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、23/3期の数値についてIFRS17ベースに遡及修正(グループ連結についても遡及修正を反映)



株主還元方針

機動的・柔軟な追加還元の検討
(21/3期より)

- 総還元性向の目安
中期平均 50%

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

[自己株式消却方針]
用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

総還元性向の
推移イメージ

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

+

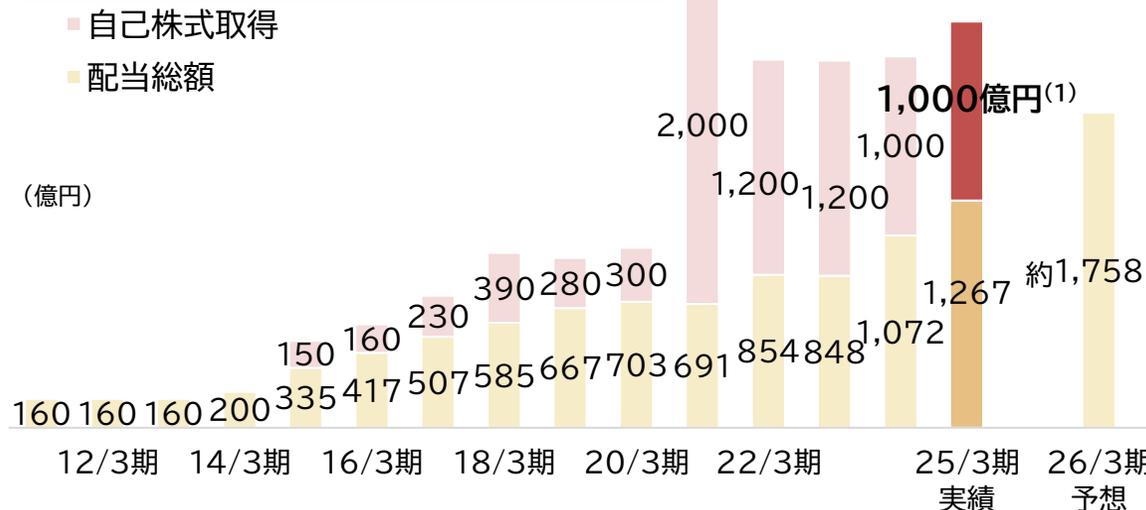
[配当性向の推移イメージ]

利益に応じた
安定配当
(26/3期より)

[配当性向] 每期 **45%以上**

- グループ修正利益過去3年平均をベース
- 1株あたり配当の減配は原則行わない

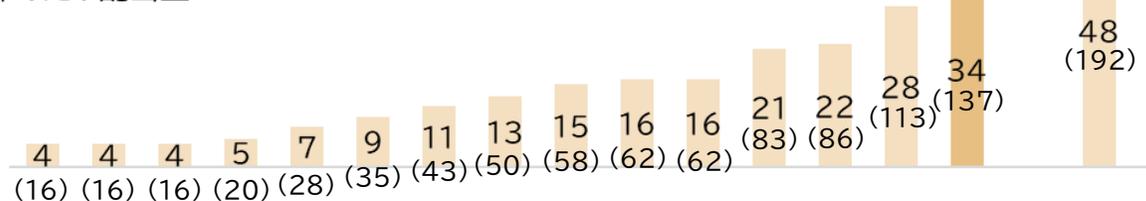
株主還元の推移



期	グループ修正利益 ⁽²⁾
24/3期	2,745
25/3期	2,828
26/3期	2,961
27/3期	1,844
28/3期	3,193
29/3期	4,395
過去3年平均	3,896
26/3期	4,100

(円/株)

1株あたり配当金⁽³⁾



(1) 2025年5月15日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) TAL・PNZでは24/3期1QからIFRS17を適用しているが、配当計算上のベースとなるグループ修正利益過去3年平均の算出において、過年度数値の遡及適用は行わない (3)数値は、株式分割(4分割)後の配当金(25/3期以前は、株式分割を考慮した換算額)。括弧内は、株式分割前の配当金(25/3期以前は実績、26/3期は換算額)

第一生命グループ – 連結財務諸表(要約)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

連結損益計算書

(億円)	24/3期	25/3期	増減
経常収益	110,282	98,733	△ 11,549
保険料等収入	75,264	67,959	△ 7,305
資産運用収益	30,340	25,284	△ 5,056
利息・配当金等収入	14,310	15,859	+ 1,550
有価証券売却益	4,351	5,708	+ 1,357
為替差益	5,391	-	△ 5,391
特別勘定資産運用益	2,075	-	△ 2,075
その他経常収益	4,678	5,489	+ 811
経常費用	104,892	91,542	△ 13,350
保険金等支払金	67,569	65,813	△ 1,755
責任準備金等繰入額	18,774	4,146	△ 14,628
資産運用費用	6,039	8,103	+ 2,064
有価証券売却損	3,566	4,578	+ 1,012
有価証券評価損	79	223	+ 144
金融派生商品費用	993	458	△ 534
為替差損	-	1,267	+ 1,267
事業費	9,263	9,898	+ 635
経常利益(△は損失)	5,390	7,191	+ 1,801
特別利益	66	190	+ 124
特別損失	312	758	+ 446
契約者配当準備金繰入額	875	1,000	+ 125
税金等調整前当期純利益(△は損失)	4,270	5,623	+ 1,353
法人税等合計	1,062	1,327	+ 265
非支配株主に帰属する当期純利益(△は損失)	0	-	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)	3,208	4,296	+ 1,088

連結貸借対照表

(億円)	24/3末	25/3末	増減
資産の部合計	675,403	695,930	+ 20,527
現預金・コール	27,837	24,557	△ 3,280
買入金銭債権	2,265	2,072	△ 193
有価証券	517,817	530,339	+ 12,522
貸付金	47,192	51,309	+ 4,117
有形固定資産	12,245	12,732	+ 487
繰延税金資産	1,789	1,710	△ 79
負債の部合計	636,582	661,233	+ 24,651
保険契約準備金	571,524	595,662	+ 24,139
責任準備金	552,689	577,019	+ 24,330
短期社債	531	419	△ 112
社債	9,222	11,531	+ 2,309
その他負債	41,715	43,795	+ 2,080
退職給付に係る負債	2,122	1,579	△ 542
価格変動準備金	3,244	3,422	+ 178
繰延税金負債	2,589	977	△ 1,611
純資産の部合計	38,822	34,697	△ 4,124
株主資本合計	18,721	20,146	+ 1,425
その他の包括利益累計額合計	20,098	14,548	△ 5,549
その他有価証券評価差額金	17,339	10,545	△ 6,794
土地再評価差額金	282	490	+ 208

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 – 財務諸表(要約)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

損益計算書

(億円)	24/3期	25/3期	増減
経常収益	40,870	44,150	+ 3,279
保険料等収入	22,898	21,384	△ 1,515
資産運用収益	13,038	13,519	+ 481
利息・配当金等収入	7,201	7,703	+ 502
有価証券売却益	4,185	5,519	+ 1,333
特別勘定資産運用益	1,528	37	△ 1,491
その他経常収益	4,934	9,246	+ 4,313
経常費用	36,957	38,763	+ 1,806
保険金等支払金	25,604	26,631	+ 1,026
責任準備金等繰入額	84	84	△ 0
資産運用費用	4,918	5,520	+ 602
有価証券売却損	2,720	3,753	+ 1,033
有価証券評価損	32	48	+ 16
金融派生商品費用	992	147	△ 845
為替差損	256	542	+ 286
事業費	3,851	4,094	+ 243
その他経常費用	2,499	2,434	△ 65
減価償却費	426	423	△ 4
経常利益(△は損失)	3,913	5,386	+ 1,473
特別利益	64	186	+ 122
特別損失	248	689	+ 441
契約者配当準備金繰入額	875	1,000	+ 125
税引前当期純利益(△は損失)	2,854	3,883	+ 1,028
法人税等合計	815	828	+ 13
当期純利益(△は損失)	2,039	3,055	+ 1,016

貸借対照表

(億円)	24/3末	25/3末	増減
資産の部合計	359,823	351,368	△ 8,455
現預金・コール	8,841	7,734	△ 1,107
買入金銭債権	2,062	1,919	△ 144
有価証券	297,351	287,295	△ 10,056
貸付金	31,091	34,230	+ 3,139
有形固定資産	11,891	12,196	+ 304
負債の部合計	330,843	327,899	△ 2,944
保険契約準備金	295,890	288,910	△ 6,980
責任準備金	289,749	282,777	△ 6,972
危険準備金	5,729	5,579	△ 150
社債	3,687	5,768	2,081
その他負債	21,460	25,680	4,220
退職給付引当金	3,699	3,252	△ 447
価格変動準備金	2,765	2,885	+ 120
繰延税金負債	2,466	571	△ 1,895
純資産の部合計	28,980	23,468	△ 5,512
株主資本合計	5,526	5,812	286
評価・換算差額等合計	23,453	17,656	△ 5,797
その他有価証券評価差額金	24,202	18,426	△ 5,776
土地再評価差額金	282	490	208

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)



損益計算書

(億円)	24/3期	25/3期	増減
経常収益	43,938	34,957	△ 8,981
保険料等収入	35,011	29,992	△ 5,018
資産運用収益	8,927	2,025	△ 6,902
為替差益	5,651	-	△ 5,651
その他経常収益	1	2,940	+ 2,940
経常費用	43,728	34,458	△ 9,270
保険金等支払金	35,603	31,773	△ 3,830
責任準備金等繰入額	6,183	105	△ 6,078
危険準備金繰入額	169	37	△ 132
資産運用費用	662	1,475	+ 813
為替差損	-	733	+ 733
事業費	1,051	900	△ 151
その他経常費用	229	205	△ 25
経常利益(△は損失)	211	499	+ 289
特別利益	-	-	-
特別損失	58	59	+ 1
法人税等合計	△4	111	+ 115
当期純利益(△は損失)	157	329	+ 172

貸借対照表

(億円)	24/3末	25/3末	増減
資産の部合計	93,120	88,239	△ 4,881
現預金・コール	7,761	5,399	△ 2,362
有価証券	72,182	70,811	△ 1,371
負債の部合計	90,906	85,659	△ 5,247
保険契約準備金	82,686	79,851	△ 2,835
責任準備金	82,304	79,364	△ 2,940
(MVA残高)	19	11	△ 8
危険準備金	1,164	1,201	+ 37
純資産の部合計	2,214	2,580	+ 367
株主資本合計	2,572	2,901	+ 329
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	722	1,051	+ 329
その他有価証券評価差額金	△359	△321	+ 38

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクティブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

損益計算書

(百万米ドル)	23/12期	24/12期	増減
経常収益	13,532	13,868	+ 336
保険料等収入	6,160	6,056	△ 104
資産運用収益	5,317	5,869	+ 552
その他経常収益	2,055	1,943	△ 113
経常費用	13,394	13,401	+ 7
保険金等支払金	6,066	5,975	△ 91
責任準備金等繰入額	4,889	5,173	+ 284
資産運用費用	913	470	△ 443
事業費	1,228	1,374	+ 146
その他経常費用	298	409	+ 111
経常利益(△は損失)	138	466	+ 329
特別利益	1	2	+ 1
特別損失	1	0	△ 0
法人税等合計	22	79	+ 57
当期純利益(△は損失)	116	389	+ 273

貸借対照表

(百万米ドル)	23/12末	24/12末	増減
資産の部合計	118,386	124,479	+ 6,093
現預金	546	640	+ 93
有価証券	77,106	80,795	+ 3,689
貸付金	13,472	14,062	+ 590
有形固定資産	207	206	△ 1
無形固定資産	3,714	4,155	+ 441
のれん	983	1,197	+ 214
その他の無形固定資産	2,695	2,916	+ 221
再保険貸	12,311	12,662	+ 352
負債の部合計	115,071	120,734	+ 5,663
保険契約準備金	107,164	112,678	+ 5,514
再保険借	645	487	△ 158
短期社債	374	265	△ 110
社債	1,662	1,637	△ 25
その他負債	5,177	5,619	+ 442
純資産の部合計	3,315	3,744	+ 430
株主資本合計	7,891	8,522	+ 631
その他の包括利益累計額合計	△4,577	△4,778	△ 201

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示



損益計算書

(百万豪ドル)	24/3期	25/3期	増減
経常収益	8,574	8,176	△ 398
保険料等収入	7,878	7,704	△ 175
保険料収入	5,974	6,155	+ 181
再保険収入	1,904	1,548	△ 356
資産運用収益	451	393	△ 58
責任準備金等戻入額	226	61	△ 166
その他経常収益	19	18	△ 1
経常費用	7,964	7,569	△ 395
保険金等支払金	3,960	4,480	+ 519
再保険費用	2,181	1,612	△ 569
資産運用費用	71	55	△ 16
事業費	1,738	1,402	△ 335
その他経常費用	14	20	+ 6
経常利益(△は損失)	610	606	△ 4
特別損益(△は損失)	△1	-	+ 1
法人税等合計	179	190	+ 11
当期純利益(△は損失)	430	416	△ 14
基礎的収益力	453	455	+ 2

貸借対照表

(百万豪ドル)	24/3末	25/3末	増減
資産の部合計	22,015	18,429	△ 3,586
現預金	1,100	1,629	+ 528
買現先勘定	590	-	△ 590
有価証券	13,010	9,895	△ 3,115
有形固定資産	9	159	+ 150
無形固定資産	786	786	-
のれん	786	786	-
その他資産	5,171	4,803	△ 368
繰延税金資産	1,349	1,157	△ 191
負債の部合計	19,651	15,989	△ 3,662
保険契約準備金	14,163	13,829	△ 334
その他負債	5,488	2,160	△ 3,328
純資産の部合計	2,364	2,440	+ 76
株主資本合計	2,364	2,440	+ 76
資本金	3,056	3,056	-
利益剰余金	△692	△615	+ 76

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

損益計算書

(十億越ドン)	23/12期	24/12期	増減
経常収益	23,199	23,096	△ 103
保険料等収入	20,201	19,734	△ 467
資産運用収益	2,995	3,361	+ 366
その他経常収益	3	2	△ 1
経常費用	20,199	20,464	+ 265
保険金等支払金	5,630	5,611	△ 18
責任準備金等繰入額	6,956	7,546	+ 590
事業費	7,513	7,178	△ 334
その他経常費用	101	129	+ 28
経常利益(△は損失)	3,000	2,632	△ 368
特別利益	6	24	+ 18
特別損失	2	7	+ 5
法人税等合計	603	523	△ 80
当期純利益(△は損失)	2,401	2,126	△ 275

貸借対照表

(十億越ドン)	23/12末	24/12末	増減
資産の部合計	66,831	75,203	+ 8,372
現預金	13,674	15,668	+ 1,994
有価証券	41,033	47,914	+ 6,881
貸付金	1,631	2,023	+ 391
有形固定資産	202	152	△ 49
無形固定資産	48	51	+ 4
再保険貸	3	-	△ 3
負債の部合計	46,665	53,792	+ 7,127
保険契約準備金	44,040	51,586	+ 7,546
再保険借	37	70	+ 32
その他負債	2,584	2,133	△ 451
純資産の部合計	20,166	21,411	+ 1,245
株主資本合計	20,166	21,411	+ 1,245

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクティブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	24/3期	25/3期	増減	24/3期	25/3期	増減	24/3期	25/3期	増減	23/12期	24/12期	増減	24/3期	25/3期	増減	23/12期	24/12期	増減	24/3期	25/3期	増減
経常収益	40,870	44,150	+ 3,279	43,938	34,957	△ 8,981	3,027	1,473	△ 1,554	19,192	21,936	+ 2,744	8,455	7,683	△ 772	1,354	1,433	+ 79	110,282	98,733	△ 11,549
保険料等収入	22,898	21,384	△ 1,515	35,011	29,992	△ 5,018	2,081	1,442	△ 640	8,736	9,579	+ 843	7,769	7,239	△ 530	1,179	1,225	+ 46	75,264	67,959	△ 7,305
資産運用収益	13,038	13,519	+ 481	8,927	2,025	△ 6,902	7	10	+ 3	7,541	9,284	+ 1,743	444	369	△ 75	175	209	+ 34	30,340	25,284	△ 5,056
利息・配当金等収入	7,201	7,703	+ 502	2,050	2,017	△ 33	7	10	+ 3	4,901	5,942	+ 1,041	29	29	+ 0	155	179	+ 24	14,310	15,859	+ 1,550
有価証券売却益	4,185	5,519	+ 1,333	57	8	△ 49	-	-	-	142	181	+ 39	-	-	-	-	-	-	4,351	5,708	+ 1,357
金融派生商品収益	-	-	-	438	-	△ 438	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差益	-	-	-	5,651	-	△ 5,651	-	-	-	-	0	+ 0	0	0	+ 0	0	0	+ 0	5,391	-	△ 5,391
特別勘定資産運用益	1,528	37	△ 1,491	547	-	△ 547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,075	-	△ 2,075
その他経常収益	4,934	9,246	+ 4,313	1	2,940	+ 2,940	939	21	△ 918	2,915	3,073	+ 158	242	74	△ 167	0	0	△ 0	4,678	5,489	+ 811
経常費用	36,957	38,763	+ 1,806	43,728	34,458	△ 9,270	3,040	1,556	△ 1,484	18,996	21,198	+ 2,201	7,853	7,113	△ 740	1,179	1,270	+ 91	104,892	91,542	△ 13,350
保険金等支払金	25,604	26,631	+ 1,026	35,603	31,773	△ 3,830	2,428	1,001	△ 1,428	8,603	9,451	+ 848	6,056	5,724	△ 331	329	348	+ 20	67,569	65,813	△ 1,755
責任準備金等繰入額	84	84	△ 0	6,183	105	△ 6,078	233	146	△ 88	6,934	8,182	+ 1,248	-	-	-	406	468	+ 62	18,774	4,146	△ 14,628
資産運用費用	4,918	5,520	+ 602	662	1,475	+ 813	0	7	+ 7	1,296	744	△ 552	70	52	△ 18	-	-	-	6,039	8,103	+ 2,064
有価証券売却損	2,720	3,753	+ 1,033	645	549	△ 96	-	7	+ 7	272	269	△ 3	-	-	-	-	-	-	3,566	4,578	+ 1,012
有価証券評価損	32	48	+ 16	-	-	-	-	-	-	216	-	△ 216	-	-	-	-	-	-	79	223	+ 144
金融派生商品費用	992	147	△ 845	-	66	+ 66	-	-	-	439	131	△ 307	-	-	-	-	-	-	993	458	△ 534
為替差損	256	542	+ 286	-	733	+ 733	-	-	-	0	-	△ 0	-	-	-	-	-	-	-	1,267	+ 1,267
特別勘定資産運用損	-	-	-	-	73	+ 73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	+ 37
事業費	3,851	4,094	+ 243	1,051	900	△ 151	344	363	+ 19	1,741	2,173	+ 432	1,713	1,318	△ 396	439	445	+ 7	9,263	9,898	+ 635
経常利益(△は損失)	3,913	5,386	+ 1,473	211	499	+ 289	△ 13	△ 83	△ 70	196	738	+ 542	602	570	△ 32	175	163	△ 12	5,390	7,191	+ 1,801
特別利益	64	186	+ 122	-	-	-	-	-	-	1	3	+ 2	-	-	-	0	1	+ 1	66	190	+ 124
特別損失	248	689	+ 441	58	59	+ 1	0	0	+ 0	1	0	△ 0	1	-	△ 1	0	0	+ 0	312	758	+ 446
契約者配当準備金繰入額	875	1,000	+ 125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	875	1,000	+ 125
税金等調整前当期純利益	2,854	3,883	+ 1,028	153	440	+ 288	△ 13	△ 83	△ 71	196	740	+ 544	601	570	△ 31	175	164	△ 11	4,270	5,623	+ 1,353
法人税等合計	815	828	+ 13	△ 4	111	+ 115	△ 2	△ 20	△ 18	32	125	+ 94	177	179	+ 2	35	32	△ 3	1,062	1,327	+ 265
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0
当期純利益(△は損失)	2,039	3,055	+ 1,016	157	329	+ 172	△ 11	△ 63	△ 52	165	615	+ 451	424	391	△ 33	140	132	△ 8	3,208	4,296	+ 1,088

主要子会社別貸借対照表(要約)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトティブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	24/3末	25/3末	増減	24/3末	25/3末	増減	24/3末	25/3末	増減	23/12末	24/12末	増減	24/3末	25/3末	増減	23/12末	24/12末	増減	24/3末	25/3末	増減
資産の部合計	359,823	351,368	△ 8,455	93,120	88,239	△ 4,881	3,426	3,496	+ 70	167,907	196,900	+ 28,993	21,709	17,318	△ 4,391	3,901	4,667	+ 766	675,403	695,930	+ 20,527
現預金・コール	8,841	7,734	△ 1,107	7,761	5,399	△ 2,362	1,728	904	△ 824	775	1,012	+ 237	1,085	1,530	+ 445	798	972	+ 174	27,837	24,557	△ 3,280
買入金銭債権	2,062	1,919	△ 144	202	153	△ 49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,265	2,072	△ 193
有価証券	297,351	287,295	△ 10,056	72,182	70,811	△ 1,371	1,111	1,878	+ 767	109,359	127,801	+ 18,442	12,829	9,299	△ 3,530	2,395	2,974	+ 578	517,817	530,339	+ 12,522
貸付金	31,091	34,230	+ 3,139	-	-	-	17	18	+ 1	19,107	22,243	+ 3,135	-	-	-	95	126	+ 30	47,192	51,309	+ 4,117
有形固定資産	11,891	12,196	+ 304	10	9	△ 1	3	3	△ 0	293	325	+ 32	9	149	+ 140	12	9	△ 2	12,245	12,732	+ 487
無形固定資産	1,206	1,197	△ 9	163	165	+ 2	109	112	+ 3	5,268	6,573	+ 1,305	775	739	△ 36	3	3	+ 0	7,084	11,073	+ 3,989
繰延税金資産	-	-	-	564	592	+ 28	14	22	+ 8	458	605	+ 146	1,330	1,087	△ 242	4	5	+ 0	1,789	1,710	△ 79
負債の部合計	330,843	327,899	△ 2,944	90,906	85,659	△ 5,247	3,068	3,201	+ 132	163,206	190,977	+ 27,772	19,377	15,025	△ 4,353	2,724	3,338	+ 615	636,582	661,233	+ 24,651
保険契約準備金	295,890	288,910	△ 6,980	82,686	79,851	△ 2,835	2,967	3,103	+ 136	151,991	178,234	+ 26,244	13,966	12,995	△ 971	2,571	3,201	+ 631	571,524	595,662	+ 24,139
責任準備金	289,749	282,777	△ 6,972	82,304	79,364	△ 2,940	2,683	2,829	+ 146	150,691	176,785	+ 26,094	3,561	3,084	△ 476	2,500	3,119	+ 618	552,689	577,019	+ 24,330
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	531	419	△ 112	-	-	-	-	-	-	531	419	△ 112
社債	3,687	5,768	+ 2,081	-	-	-	-	-	-	2,357	2,589	+ 232	-	-	-	-	-	-	9,222	11,531	+ 2,309
その他負債	21,460	25,680	+ 4,220	3,850	2,943	△ 908	62	60	△ 1	7,342	8,888	+ 1,546	5,411	2,030	△ 3,382	151	132	△ 18	41,715	43,795	+ 2,080
退職給付に係る負債	3,699	3,252	△ 447	-	-	-	-	-	-	70	77	+ 7	-	-	-	0	0	+ 0	2,122	1,579	△ 542
価格変動準備金	2,765	2,885	+ 120	479	537	+ 58	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,244	3,422	+ 178
繰延税金負債	2,466	571	△ 1,895	4	1	△ 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,589	977	△ 1,611
純資産の部合計	28,980	23,468	△ 5,512	2,214	2,580	+ 367	358	295	△ 63	4,701	5,923	+ 1,221	2,331	2,293	△ 38	1,177	1,329	+ 152	38,822	34,697	△ 4,124
株主資本合計	5,526	5,812	+ 286	2,572	2,901	+ 329	359	295	△ 63	9,237	10,210	+ 973	2,331	1,926	△ 405	1,053	1,129	+ 76	18,721	20,146	+ 1,425
その他の包括利益累計額合計	23,453	17,656	△ 5,797	△ 359	△ 321	+ 38	△ 1	△ 1	+ 0	△ 4,535	△ 4,287	+ 248	-	367	+ 367	124	200	+ 75	20,098	14,548	△ 5,549
- - - - - -	24,202	18,426	△ 5,776	△ 359	△ 321	+ 38	△ 1	△ 1	+ 0	△ 6,482	△ 7,569	△ 1,087	-	-	-	-	-	-	17,339	10,545	△ 6,794
- - - - - -	282	490	+ 208	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	282	490	+ 208

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



(億円)	24/3末	25/3末	増減	
ソルベンシー・マージン総額(A)	70,464	63,628	△ 6,836	
資本金等 ⁽¹⁾	12,093	9,965	△ 2,128	
価格変動準備金	3,244	3,422	+ 178	
危険準備金	6,910	6,799	△ 110	
異常危険準備金	66	73	+ 8	
一般貸倒引当金	32	20	△ 12	
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	21,616	13,418	△ 8,198	
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	3,887	4,542	+ 654	
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	1,634	1,782	+ 148	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,453	23,563	+ 110	
負債性資本調達手段等	9,237	11,318	+ 2,081	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△7,403	△7,265	+ 138	
少額短期保険業者に係るマージン総額	0	0	+ 0	
控除項目	△4,833	△4,683	+ 149	
その他	528	675	+ 147	
リスクの合計額(B) $\sqrt{[\sqrt{(R_1^2 + R_5^2) + R_8 + R_9}]^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$	20,345	19,777	△ 568	
保険リスク相当額	R ₁	1,606	1,713	+ 108
一般保険リスク相当額	R ₅	230	278	+ 48
巨大災害リスク相当額	R ₆	18	21	+ 3
第三分野保険の保険リスク相当額	R ₈	1,817	1,792	△ 24
少額短期保険業者の保険リスク相当額	R ₉	0	0	+ 0
予定利率リスク相当額	R ₂	2,178	2,091	△ 87
最低保証リスク相当額	R ₇ ⁽²⁾	775	888	+ 114
資産運用リスク相当額	R ₃	16,610	15,996	△ 613
経営管理リスク相当額	R ₄	465	456	△ 9
ソルベンシー・マージン比率 (A) / {(1/2) × (B)}	692.6%	643.4%	△49.2%pt	

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く

(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先
第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。